

まちづくり市民意識調査

調査結果報告書

令和元年 12 月

明 石 市

目 次

| | | |
|-----|--------------------------------|-------|
| I | 調査の概要 | P. 1 |
| II | 回答者の属性（問6） | P. 2 |
| III | 調査の結果 | P. 4 |
| | 1) 明石のまちについて（問1） | P. 4 |
| | 2) 今後の明石のまちづくりについて（問2） | P. 20 |
| | 3) 市民の皆さまの意識や行動について（問3） | P. 25 |
| | 4) 転入のきっかけや考慮した住宅環境について（問4） | P. 42 |
| | 5) 全市民対象と直近5年以内の転入者対象の比較について | P. 47 |
| | 6) 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について（問5） | P. 49 |

I 調査の概要

1. 調査の目的

本業務は明石市の総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略、個別計画などの推進状況の検証に活用するとともに、今後の施策展開に活かしていくため、明石のまちへの思いや市の取り組みに対する市民の満足度や市民の意識・行動等についての調査を行った。

2. 調査の内容

- 問1 明石のまちについて
- 問2 今後の明石のまちづくりについて
- 問3 市民の皆さまの意識や行動について
- 問4 転入のきっかけや考慮した生活環境について
- 問5 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について（自由記述）
- 問6 あなた自身について（回答者の属性）

3. 調査の方法等

- (1) 調査対象者 18歳以上の市民5,000人（住民基本台帳から単純無作為抽出）
 - 全市民対象 3,000人
 - 直近5年以内の転入者 2,000人
- (2) 調査方法 郵送調査
- (3) 調査期間 令和元年6月7日（金）～7月3日（水）

4. 回収結果

| | 配布数 | 回答数 | 回収率 |
|------------|--------|--------|-------|
| 全市民対象 | 3,000人 | 2,097人 | 69.9% |
| 直近5年以内の転入者 | 2,000人 | 1,168人 | 58.4% |
| 合計 | 5,000人 | 3,265人 | 65.3% |

【参考】前回（平成27年3月～4月実施）

| | 配布数 | 回答数 | 回収率 |
|-------|--------|--------|-------|
| 全市民対象 | 5,000人 | 2,642人 | 52.8% |

※アンケート調査結果集計時の留意事項

- ・設問毎の有効回答数は「n=〇」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
- ・本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問については、選択肢ごとに回答比率を算出しており、回答比率を合計しても100%にならない。

II 回答者の属性（問6 あなた自身について）

回答者の性別は、「女性」が58.9%、「男性」が36.5%であった（図1-1参照）。

回答者の年齢は、「70歳代」が最も多く18.6%、次いで「60歳代」が18.0%、「40歳代」が17.9%であった（図1-2参照）。なお、市の実際の人口の年齢構成比と比較すると、50歳代から70歳代までの回答割合が高く、40歳代以下は低かった（表1-1参照）。

回答者の世帯の子どもは小学生が最も多く11.9%、次いで未就学児が7.9%、高校・高専生が7.3%であった。（図1-3参照）。

結婚を「している」回答者は72.8%、「していない」は14.4%であった。
また、「していないが、いずれはしたい」は7.1%であった（図1-4参照）。

図1-1 回答者の性別

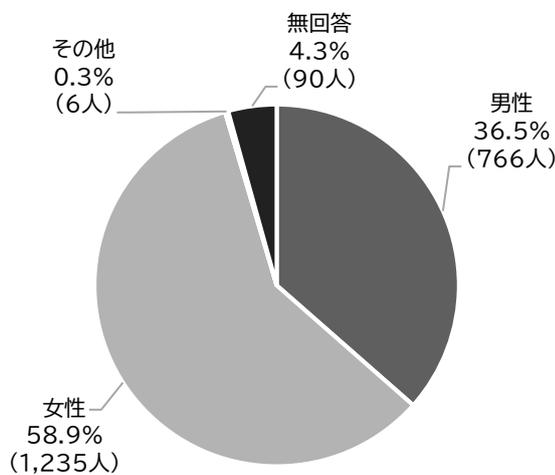


図1-2 回答者の年齢

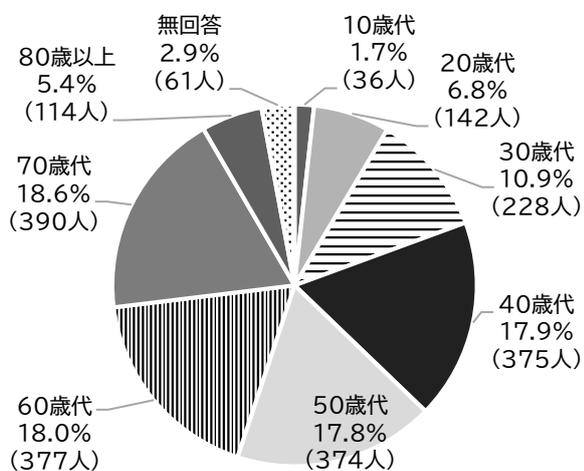
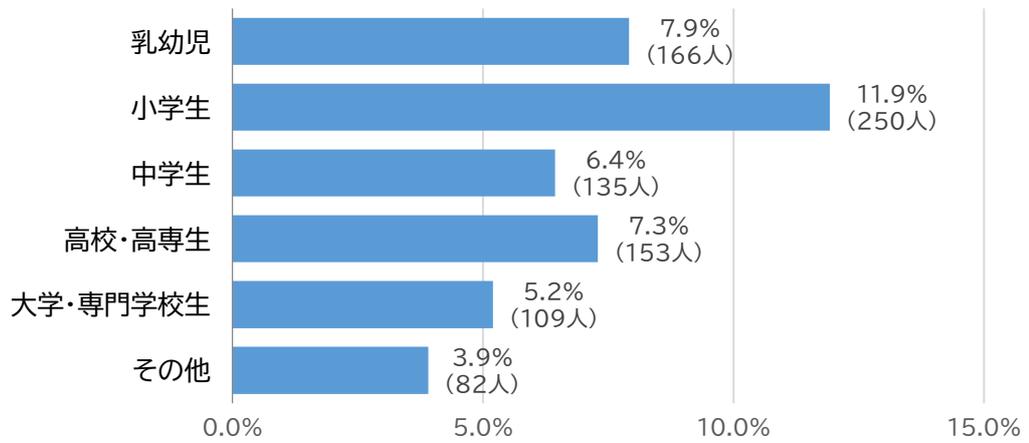


表1-1 回答者の年齢構成と市全体の年齢構成の比率

| | 回答者 (①) | 明石市人口 (②) | 差分 (①-②) |
|--------------|---------|-----------|----------|
| 10歳代 (18歳以上) | 1.7% | 2.3% | -0.6% |
| 20歳代 | 6.8% | 12.2% | -5.4% |
| 30歳代 | 10.9% | 14.8% | -3.9% |
| 40歳代 | 17.9% | 18.1% | -0.2% |
| 50歳代 | 17.8% | 15.2% | 2.6% |
| 60歳代 | 18.0% | 14.2% | 3.8% |
| 70歳代 | 18.6% | 14.4% | 4.2% |
| 80歳以上 | 5.4% | 8.8% | -3.4% |
| 無回答 | 2.9% | — | — |
| 対象者総数 | 2,097人 | 256,382人 | |

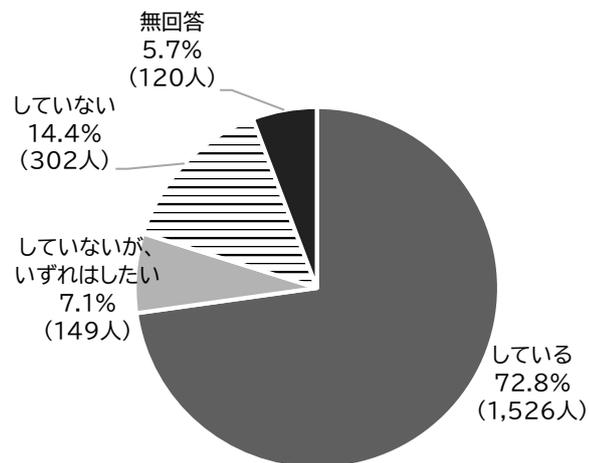
※明石市人口は、住民基本台帳人口（H31.4.1現在）。

図1-3 回答者の世帯の子ども（複数回答）



※対象となる子どもがいると答えた回答者の割合と人数

図1-4 結婚について



Ⅲ 調査の結果

1) 明石のまちについて (問1)

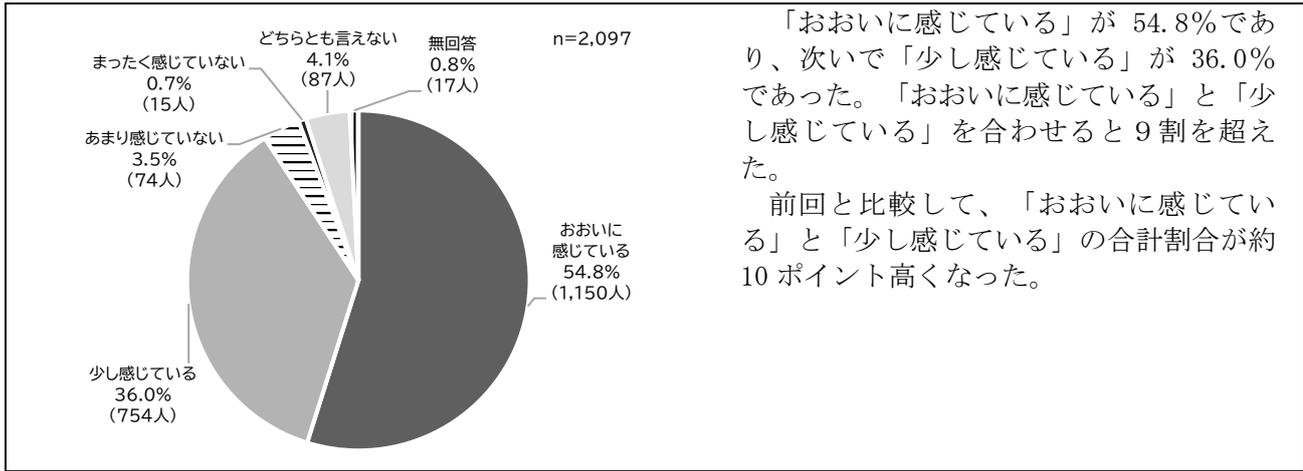
1. 調査目的

まちづくりの進捗状況及び市民意識を把握するため、明石のまちへの思いや地域の生活環境に関する意識について調査を行った。

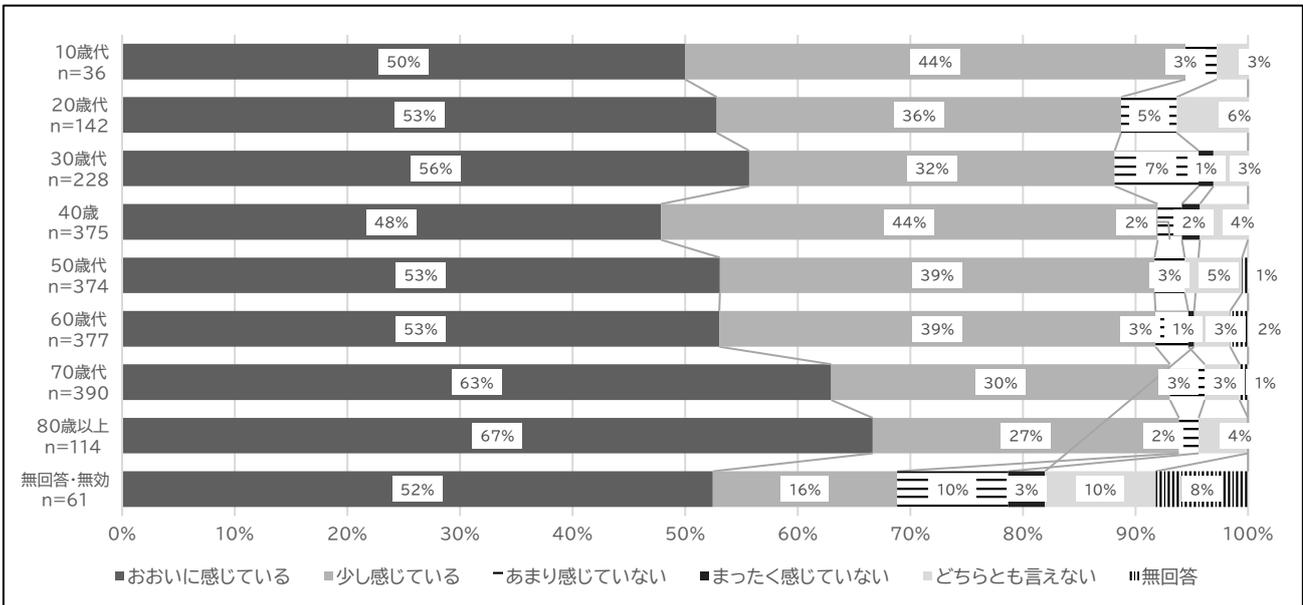
2. 各設問の集計結果

問1—1 明石のまちに愛着を感じていますか？

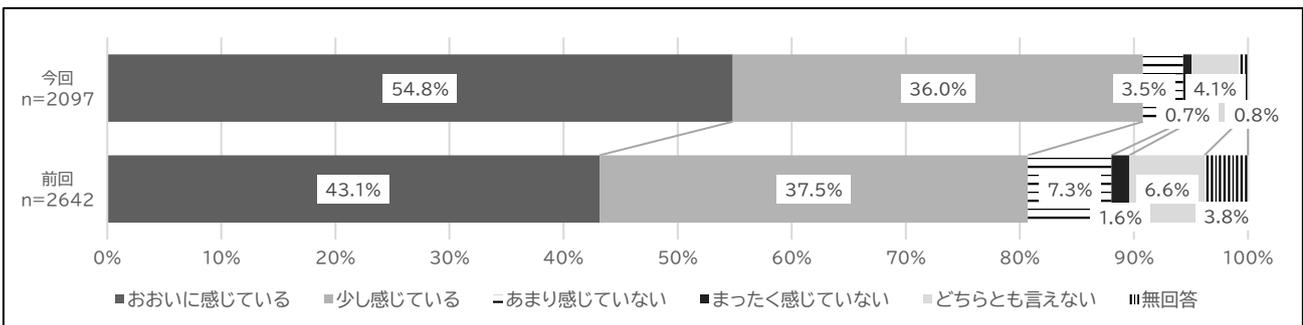
①全体集計



②年代別集計

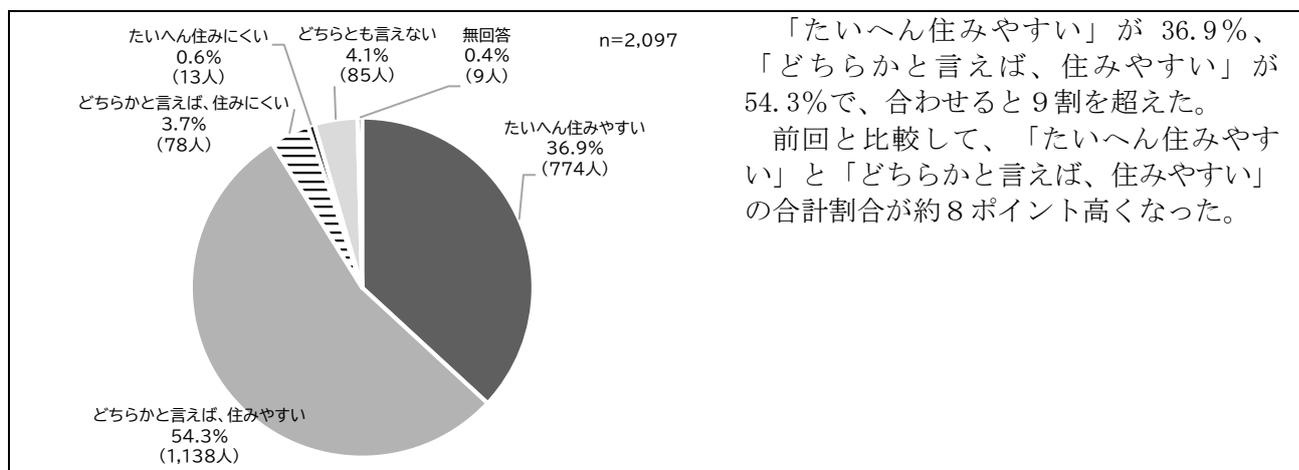


③前回比較集計

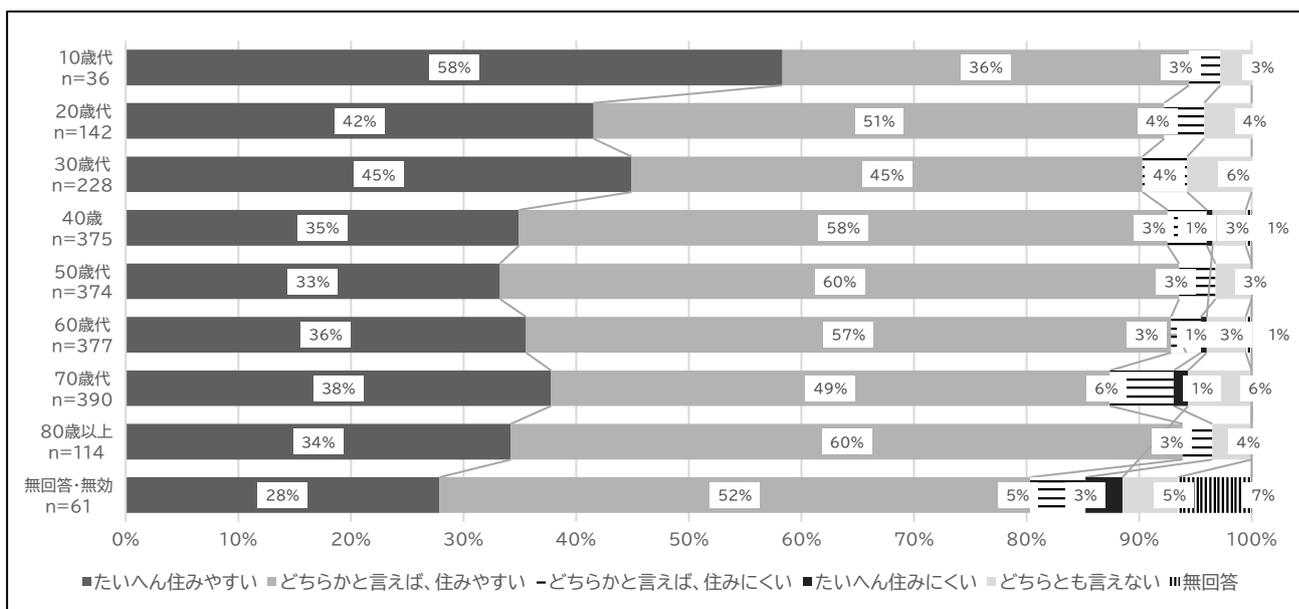


問1—2 お住まいの地域は住みやすいですか？

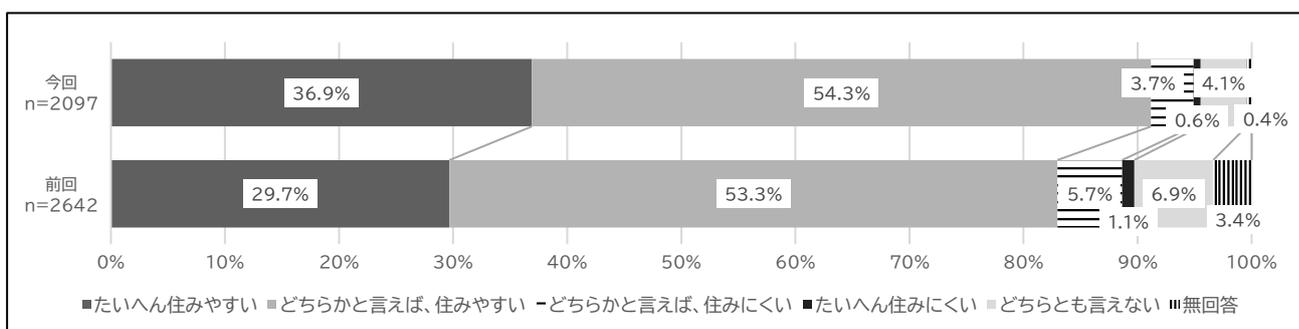
①全体集計



②年代別集計

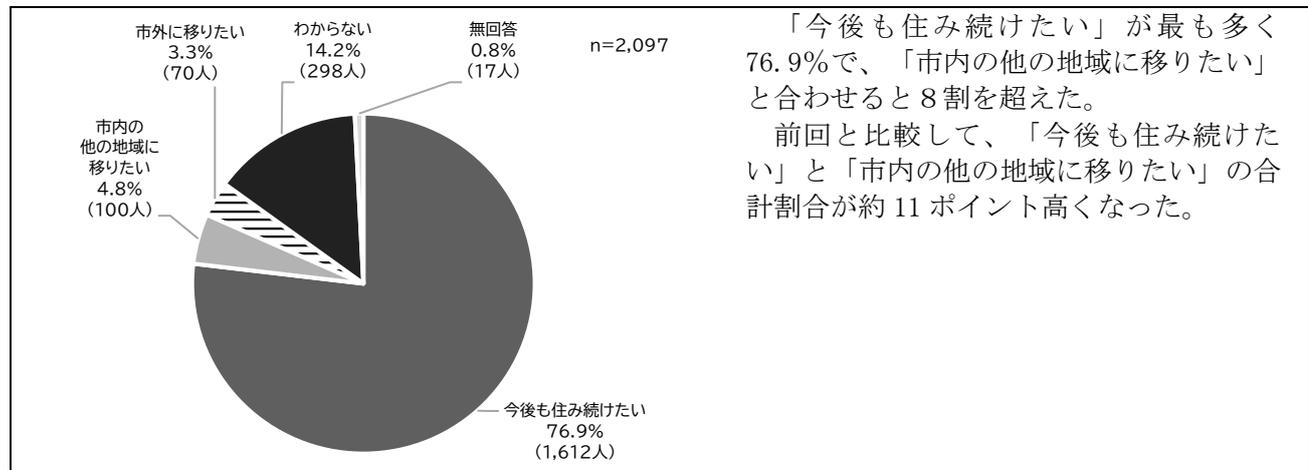


③前回比較集計

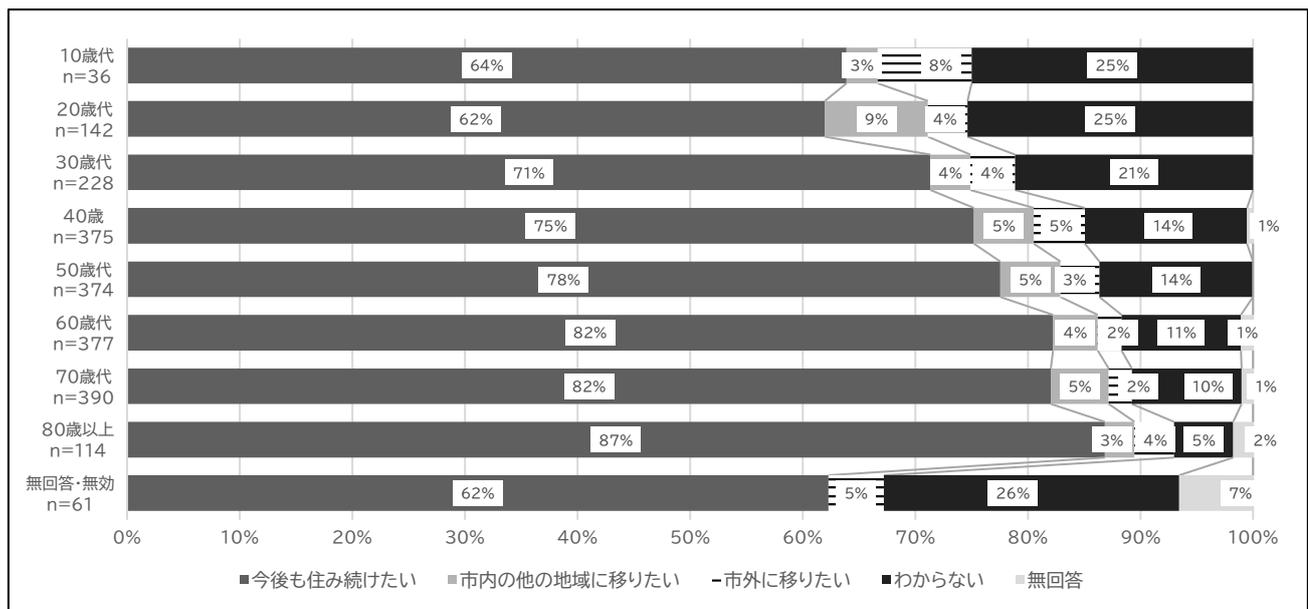


問1-3 お住まいの地域に今後も住みたいと思いますか？

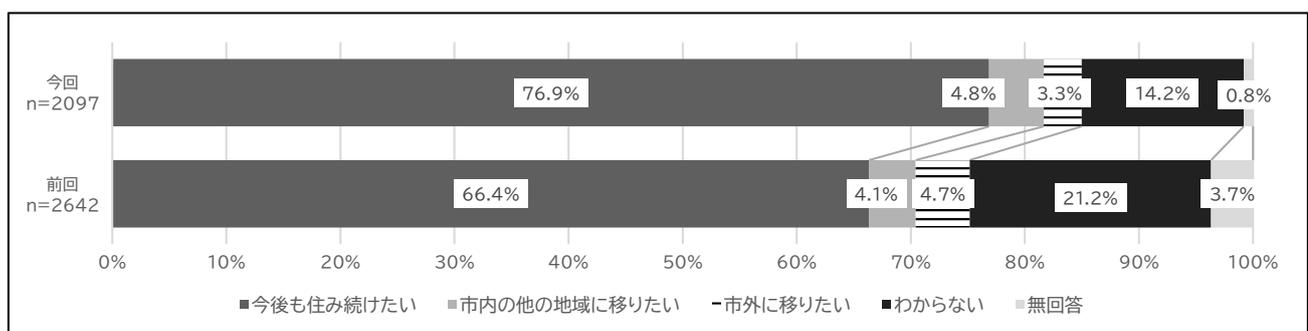
①全体集計



②年代別集計



③前回比較集計

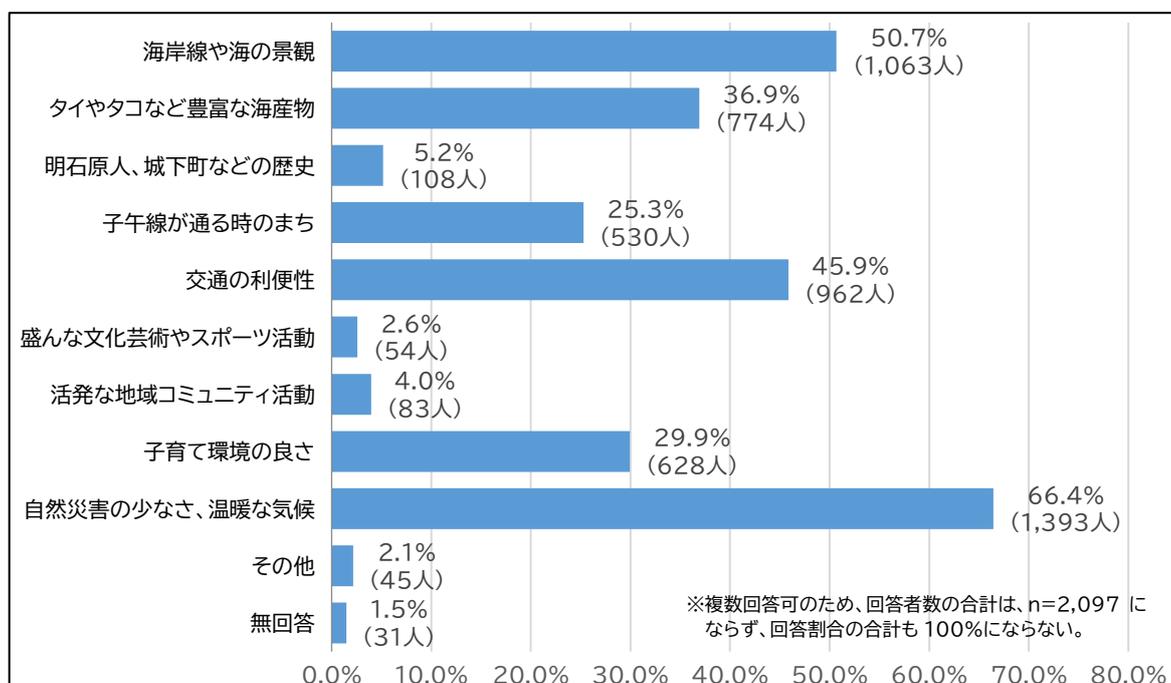


問1—4 明石のまちの誇れるところはどこにありますか？(3つまで選択)

①全体集計

「自然災害の少なさ・温暖な気候」が最も多く 66.4%、次いで「海岸線や海の景観」が 50.7%、「交通の利便性」が 45.9%、「タイやタコなど豊富な海産物」が 36.9%であった。

前回と比較すると、「子育て環境の良さ」、「交通の利便性」、「自然災害の少なさ、温暖な気候」が高くなっている。



②年代別集計

年代別に見ると、20歳代以下では「海岸線や海の景観」が最も多く、30歳代では「子育て環境の良さ」が、40歳代以上ではすべての年代で「自然災害の少なさ・温暖な気候」が最も多かった。50歳代以下では「子育て環境の良さ」が5位までに入っていた。

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|-------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|
| 10歳代 (n=36) | 海岸線や海の景観 (55.6%) | タイやタコなど豊富な海産物(52.8%) | 子午線が通る時のまち(36.1%) | 子育て環境の良さ(33.3%) | 交通の利便性(30.6%) |
| 20歳代 (n=142) | 海岸線や海の景観 (51.4%) | 自然災害の少なさ・温暖な気候(50.0%) | タイやタコなど豊富な海産物(43.7%) | 交通の利便性(41.5%) | 子育て環境の良さ(40.1%) |
| 30歳代 (n=228) | 子育て環境の良さ (62.3%) | 海岸線や海の景観 (49.1%) | 自然災害の少なさ・温暖な気候(44.7%) | 交通の利便性(39.5%) | タイやタコなど豊富な海産物(37.3%) |
| 40歳代 (n=375) | 自然災害の少なさ・温暖な気候(61.3%) | 海岸線や海の景観 (49.1%) | 子育て環境の良さ(43.2%) | タイやタコなど豊富な海産物(40.8%) | 交通の利便性(38.4%) |
| 50歳代 (n=390) | 自然災害の少なさ・温暖な気候(66.3%) | 海岸線や海の景観 (55.1%) | 交通の利便性(44.4%) | タイやタコなど豊富な海産物(37.4%) | 子育て環境の良さ(28.9%) |
| 60歳代 (n=377) | 自然災害の少なさ・温暖な気候(77.2%) | 交通の利便性 (51.2%) | 海岸線や海の景観 (45.4%) | タイやタコなど豊富な海産物(35.5%) | 子午線が通る時のまち(28.4%) |
| 70歳代 (n=390) | 自然災害の少なさ・温暖な気候(80.8%) | 海岸線や海の景観 (54.6%) | 交通の利便性 (53.8%) | タイやタコなど豊富な海産物(29.5%) | 子午線が通る時のまち(25.4%) |
| 80歳代以上 (n=114) | 自然災害の少なさ・温暖な気候(77.2%) | 交通の利便性 (61.4%) | 海岸線や海の景観 (49.1%) | タイやタコなど豊富な海産物(36.8%) | 子午線が通る時のまち(21.1%) |

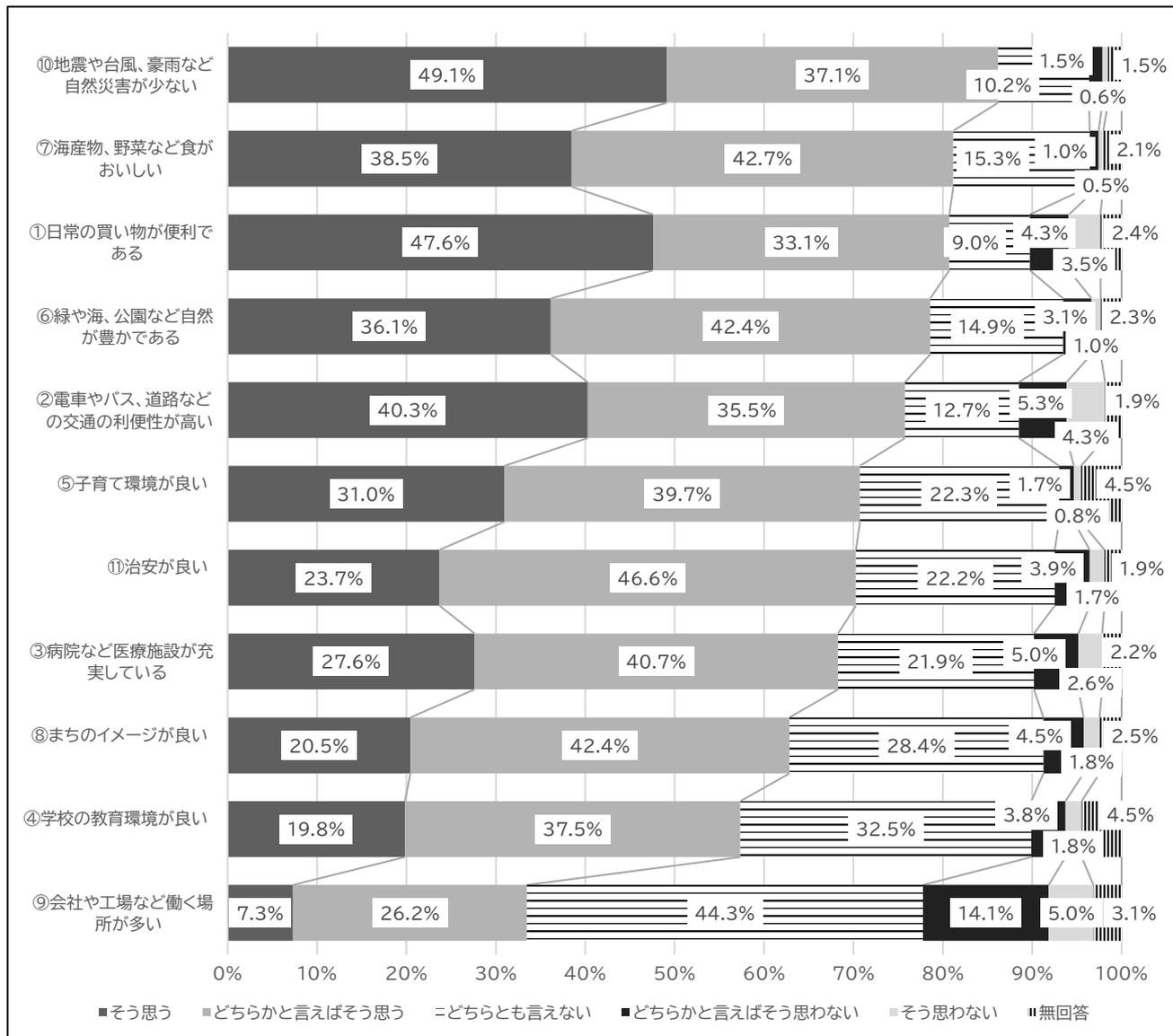
問1—5 お住まいの地域の生活環境について、どう感じていますか？

(1)結果概要

地域の生活環境について、11の視点から、それぞれ「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」という選択肢を設けて、現状を聞いた。

その結果、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合が最も高かったのが、「地震や台風、豪雨など自然災害が少ない」(86.2%)であり、次に「海産物、野菜など食がおいしい」(81.2%)、「日常の買い物が便利である」(80.7%)、「緑や海、公園など自然が豊かである」(78.5%)、「電車やバス、道路などの交通の利便性が高い」(75.8%)であった。

一方、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が最も高かったのが、「会社や工場など働く場所が多い」(19.1%)であり、次に「電車やバス、道路などの交通の利便性が高い」(9.6%)、「日常の買い物が便利である」(7.9%)であった。



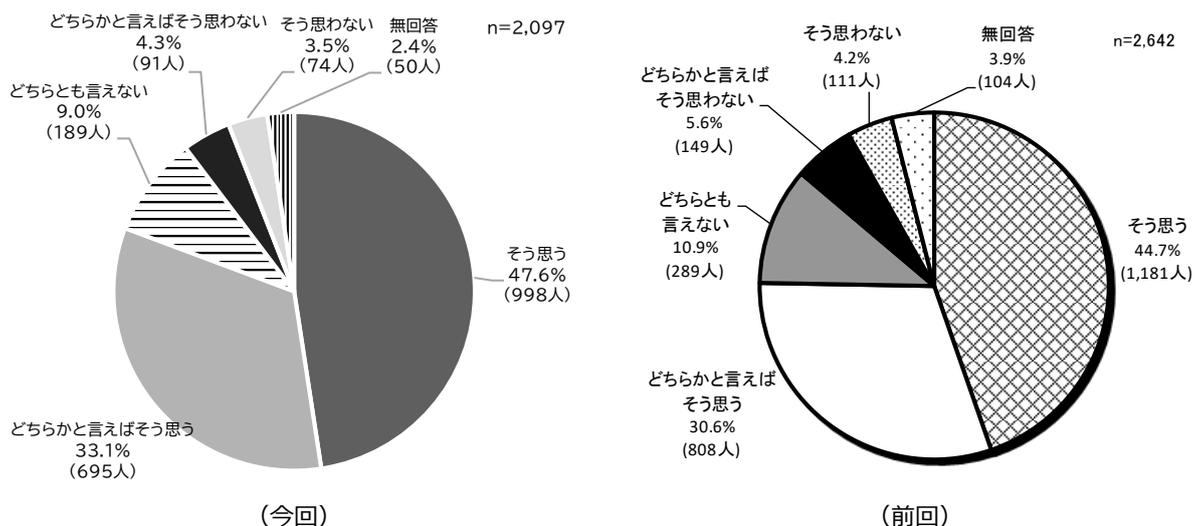
※「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高い順に並べ替え。

(2)各項目の集計結果

① 日常の買い物が便利である

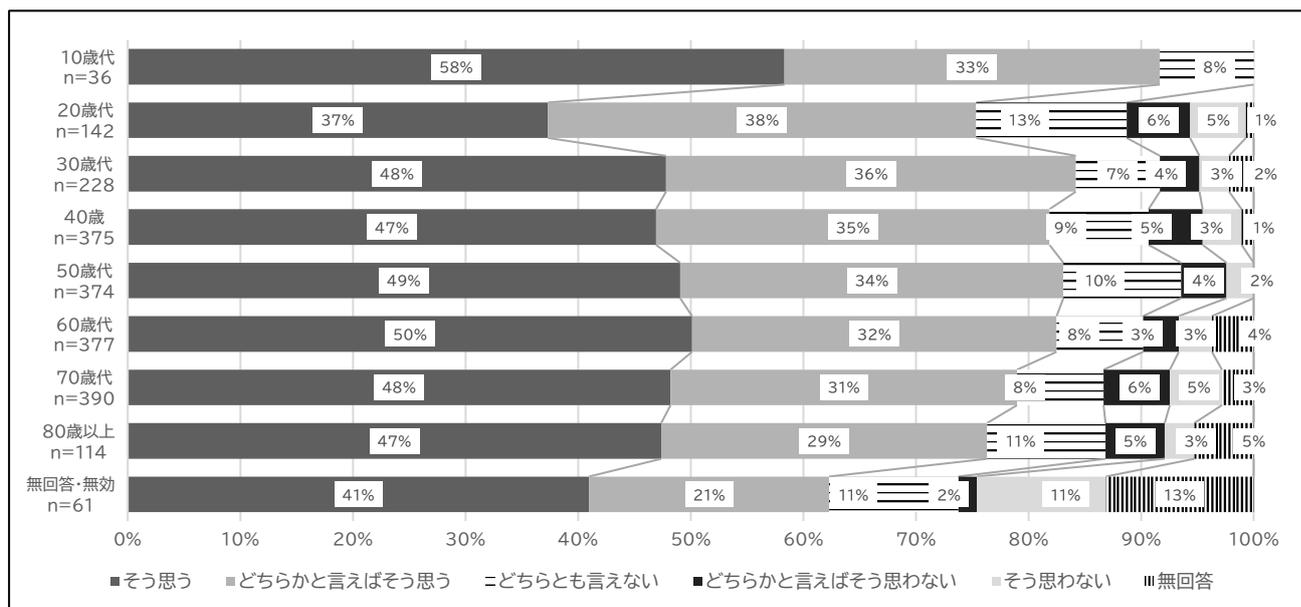
①全体集計

「そう思う」が最も多く 47.6%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」で 33.1%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約8割を占めた。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が少し高くなった。



②年代別集計

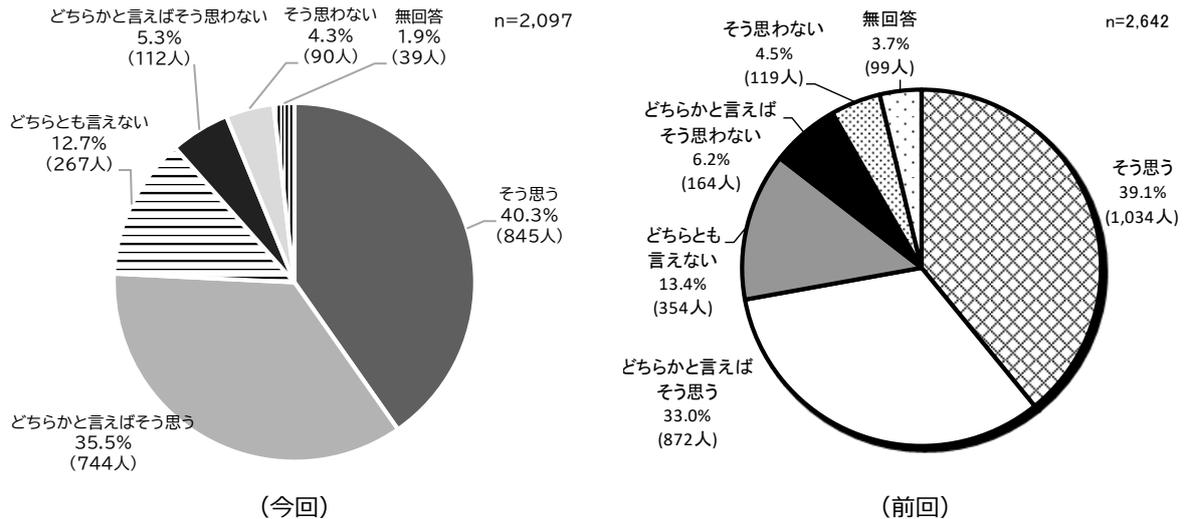
20歳代、80歳以上を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が8割を超え、10歳代では9割以上になった。20歳代、80歳以上では、約7.5割であった。また、「そう思わない」については、全年代で5%以下となった。



② 電車やバス、道路など交通の利便性が高い

①全体集計

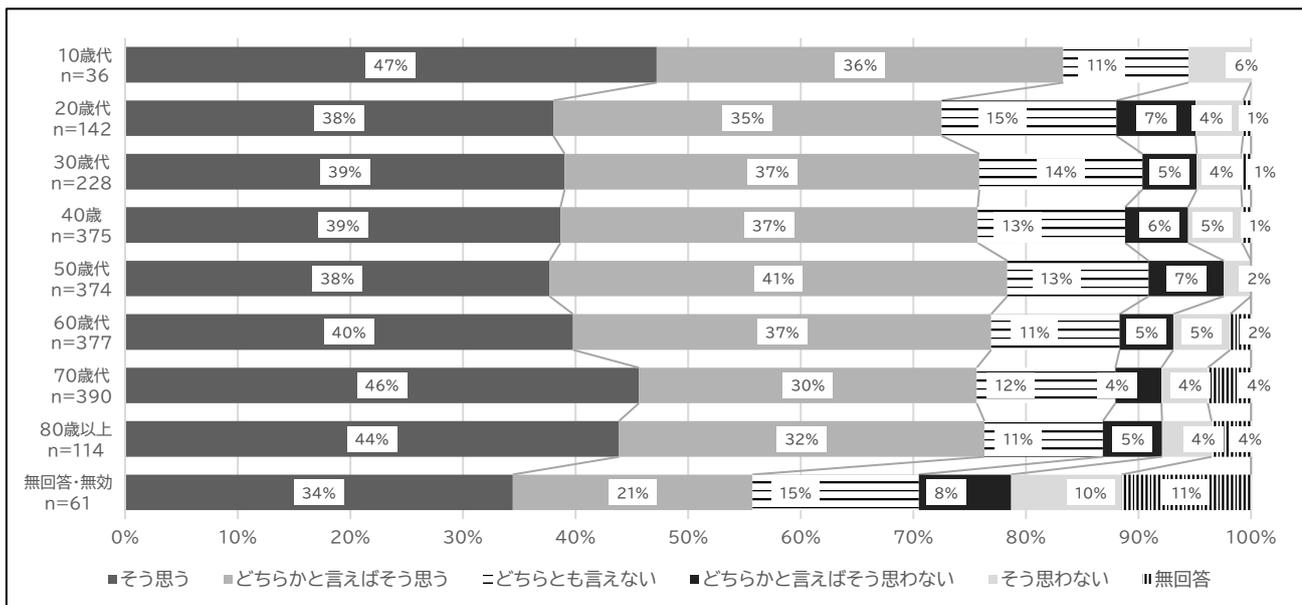
「そう思う」が最も多く 40.3%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が 35.5%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約 7.5 割であった。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が少し高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

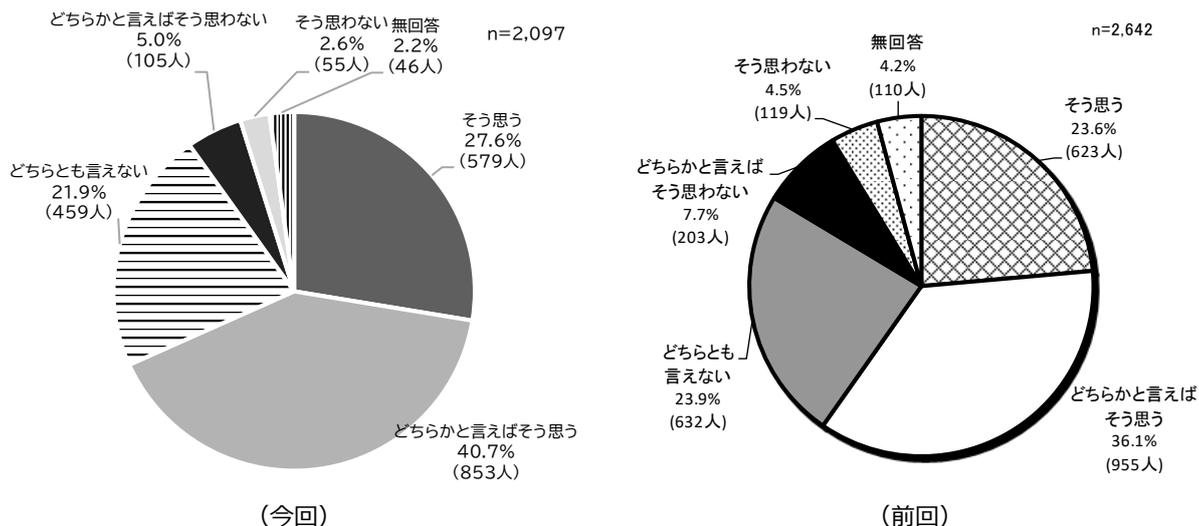
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、20歳代、40歳代が1割を超えており、他の年代と比べて少し高かった。



③ 病院など医療施設が充実している

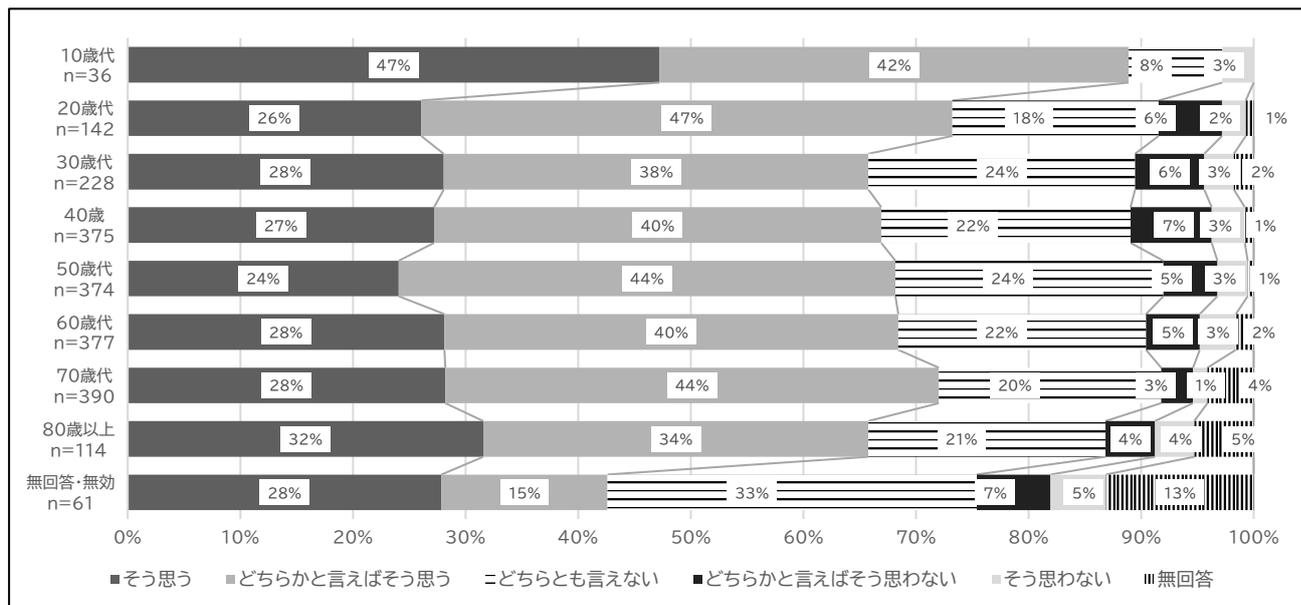
①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 40.7%であり、次いで「そう思う」が 27.6%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約7割となった。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

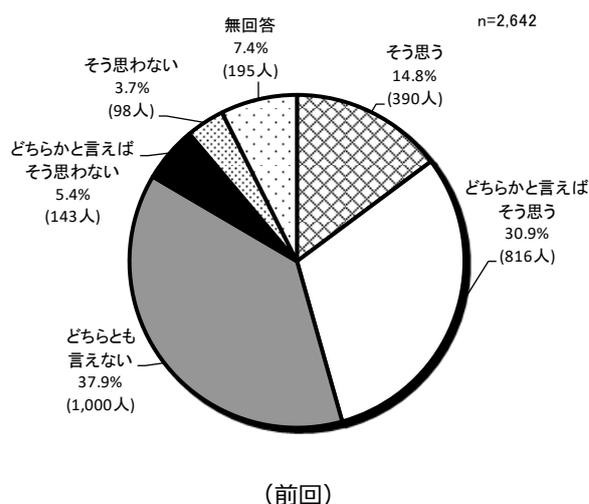
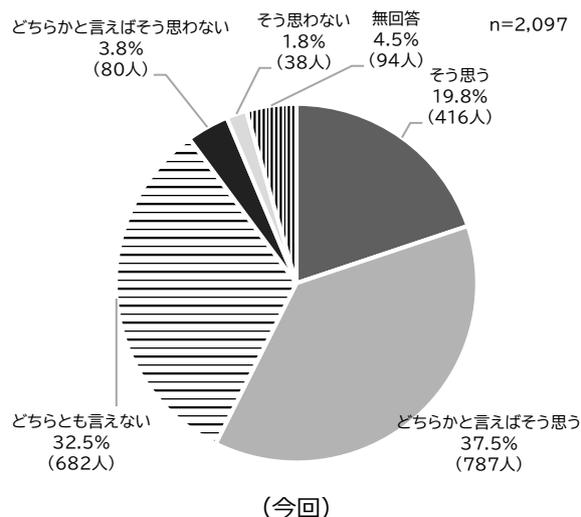
すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6割を超えた。また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、40歳代が約1割を超え、他の年代と比べて少し高かった。



④ 学校の教育環境が良い

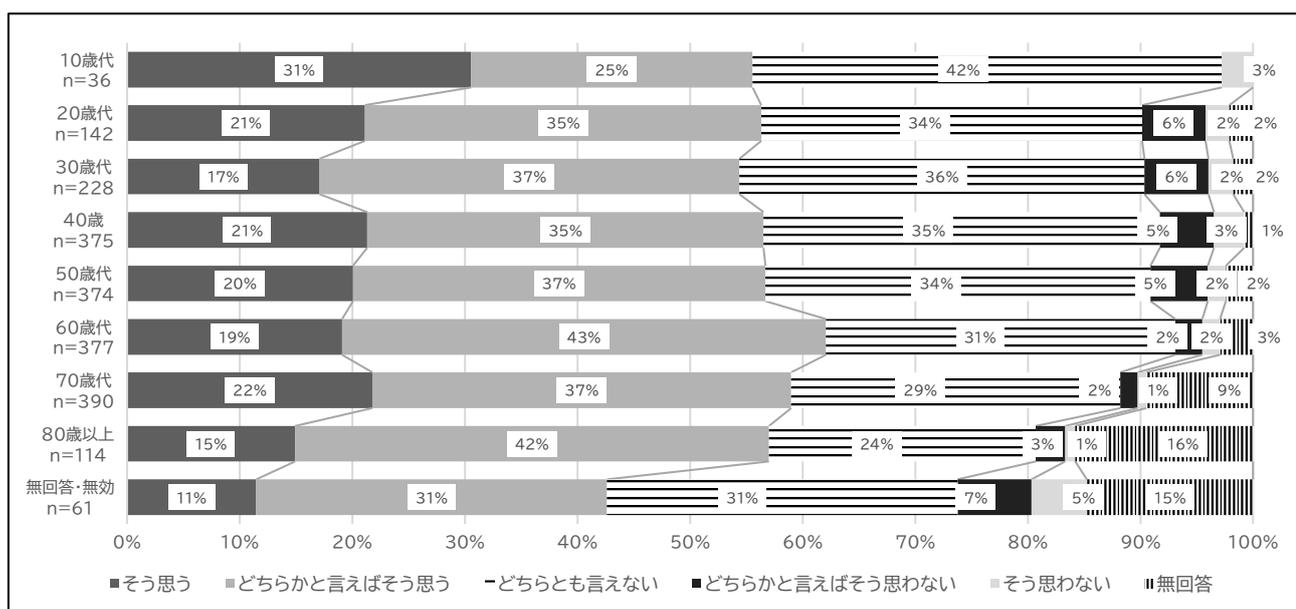
①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 37.5%であり、次いで「どちらとも言えない」が 32.5%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約6割であった。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が5割を超えた。また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代が1割に満たなかった。

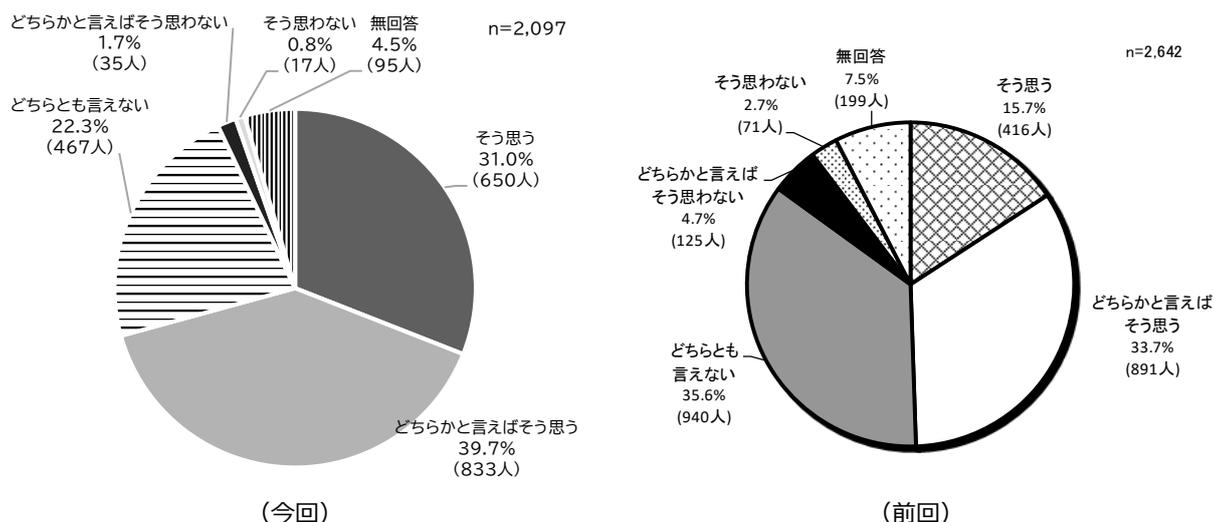


⑤ 子育て環境が良い

①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 39.7%であり、次いで「そう思う」が 31.0%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約7割であった。

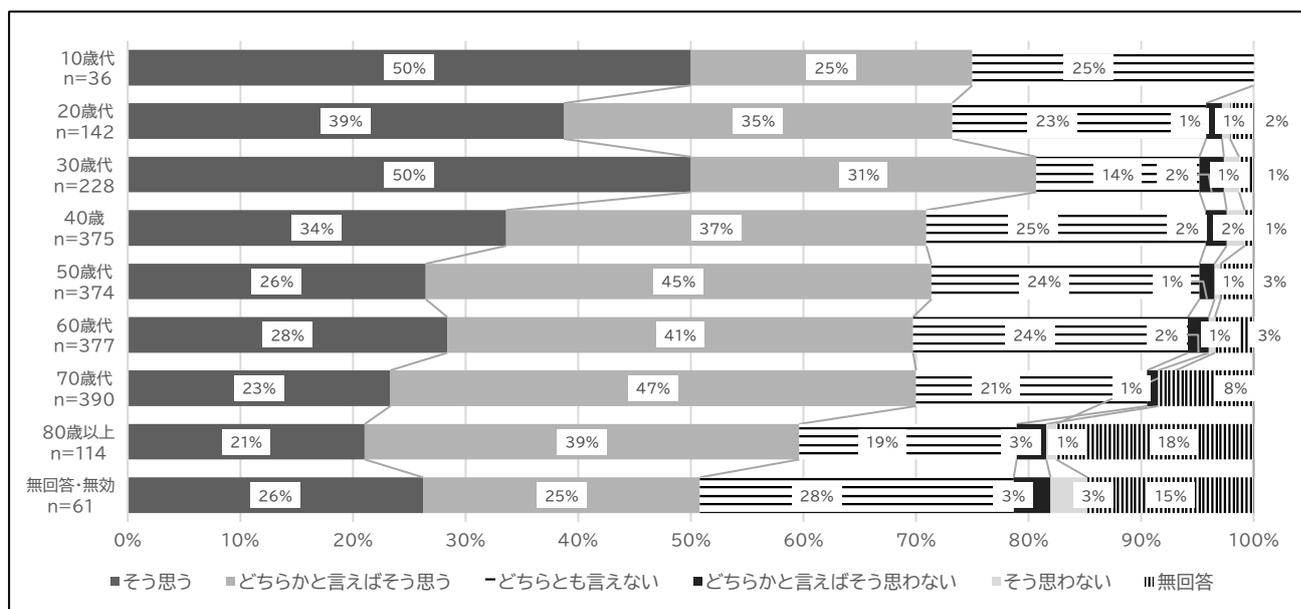
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が 20 ポイント以上高くなった。



②年代別集計

80歳代以上を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

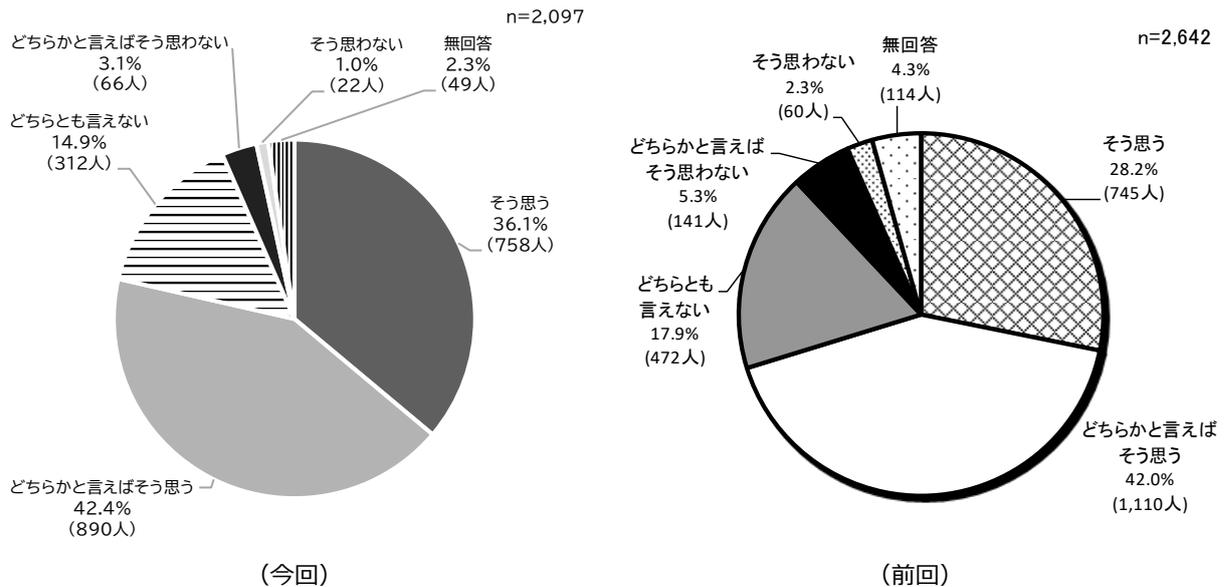
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代が1割に満たなかった。



⑥ 緑や海、公園など自然が豊かである

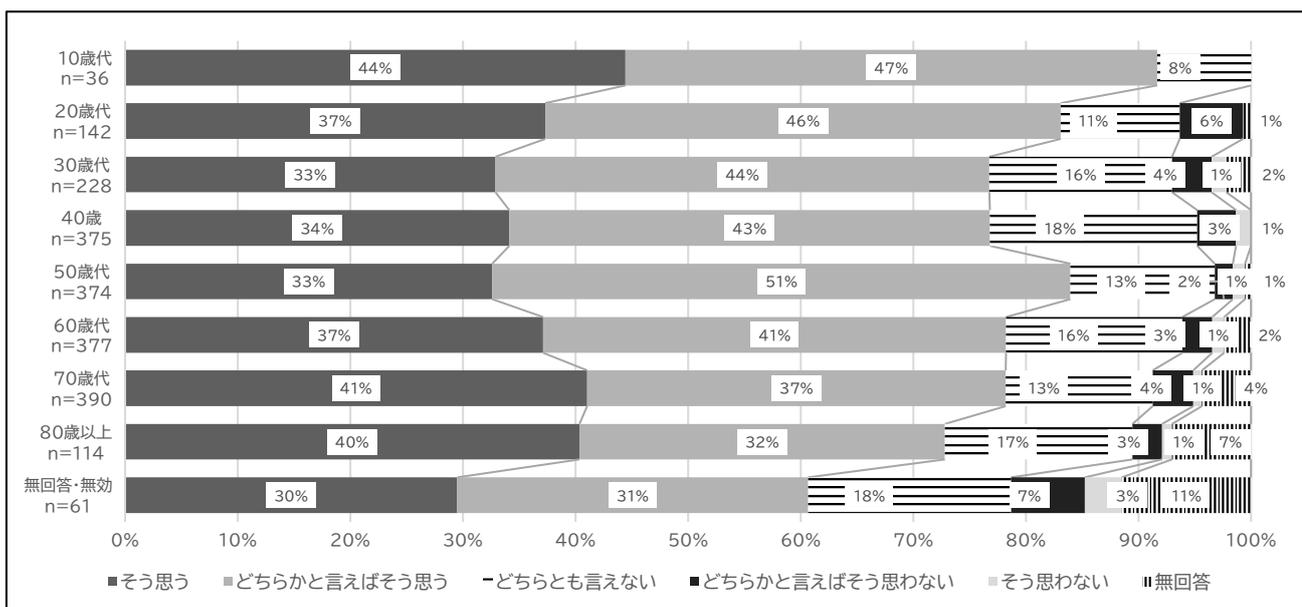
①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 42.4%であり、次いで「そう思う」が 36.1%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約8割であった。前回と比較して「そう思う」の割合が高くなった。



②年代別集計

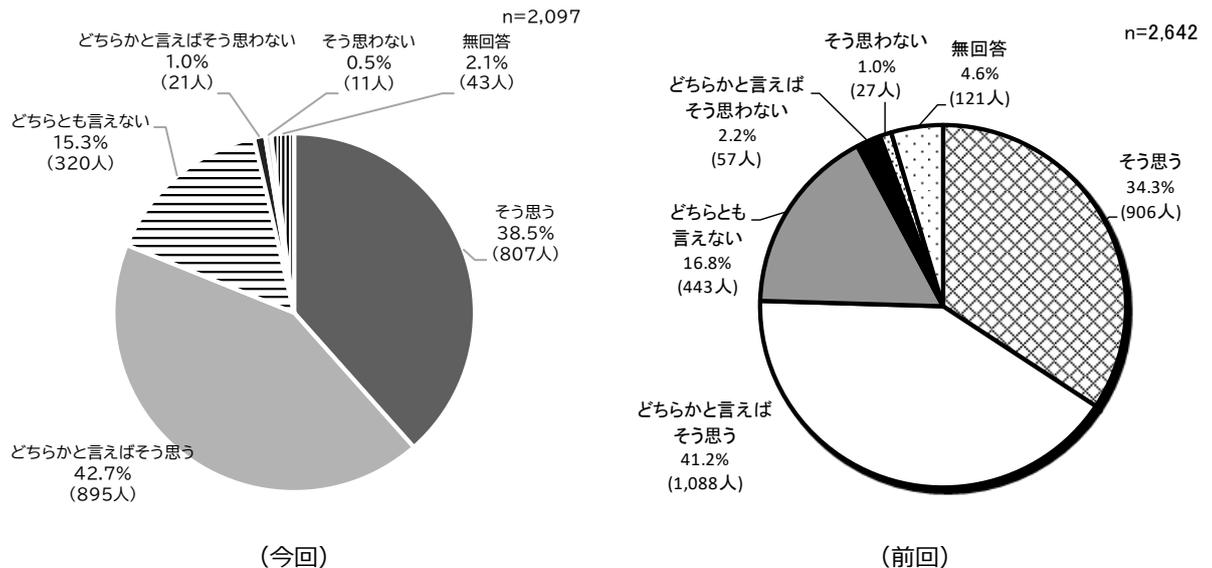
すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。



⑦ 海産物、野菜など食がおいしい

①全体集計

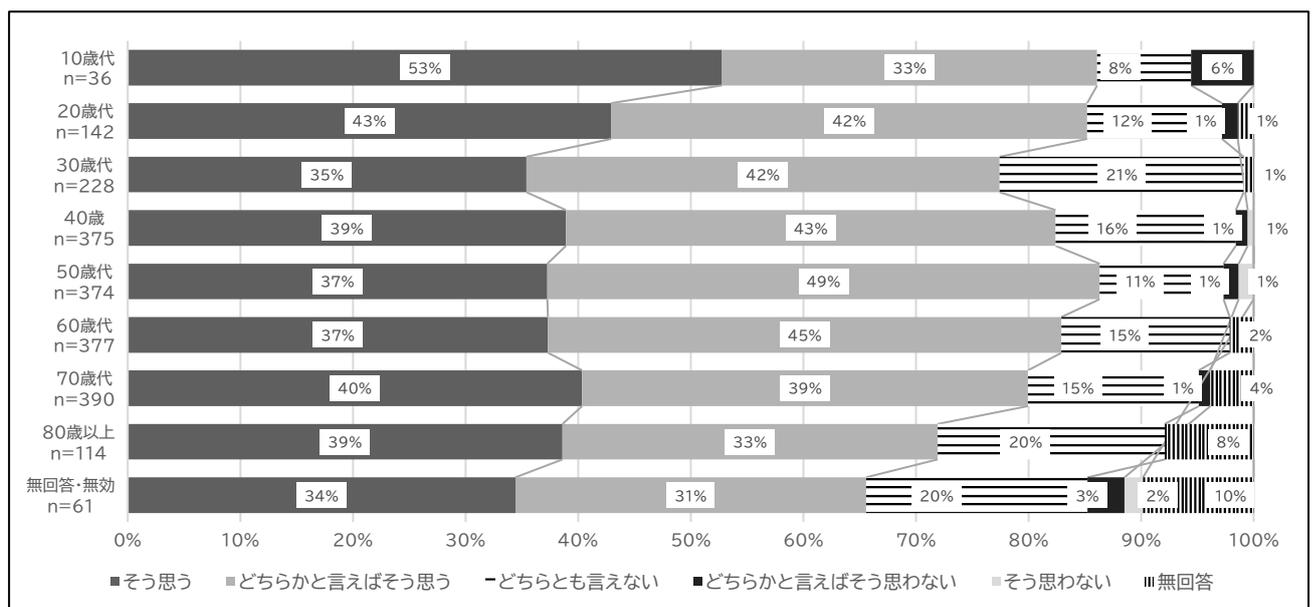
「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 42.7%であり、次いで「そう思う」が 38.5%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約8割であった。前回と比較して「そう思う」の割合が少し高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。また、10歳代では「そう思う」が53%で、他の年代に比べて高かった。

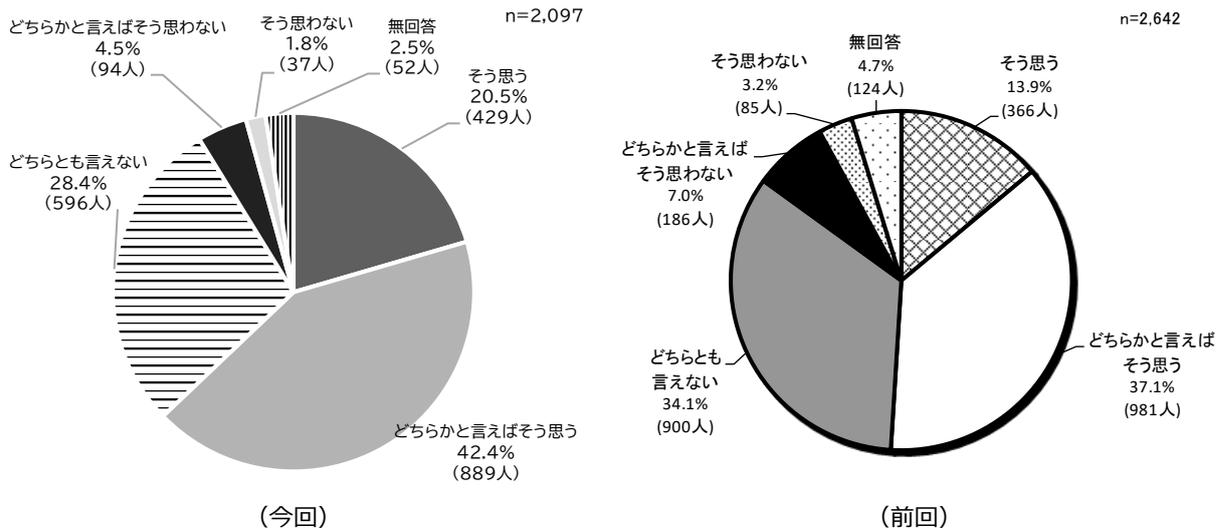
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。



⑧ まちのイメージが良い

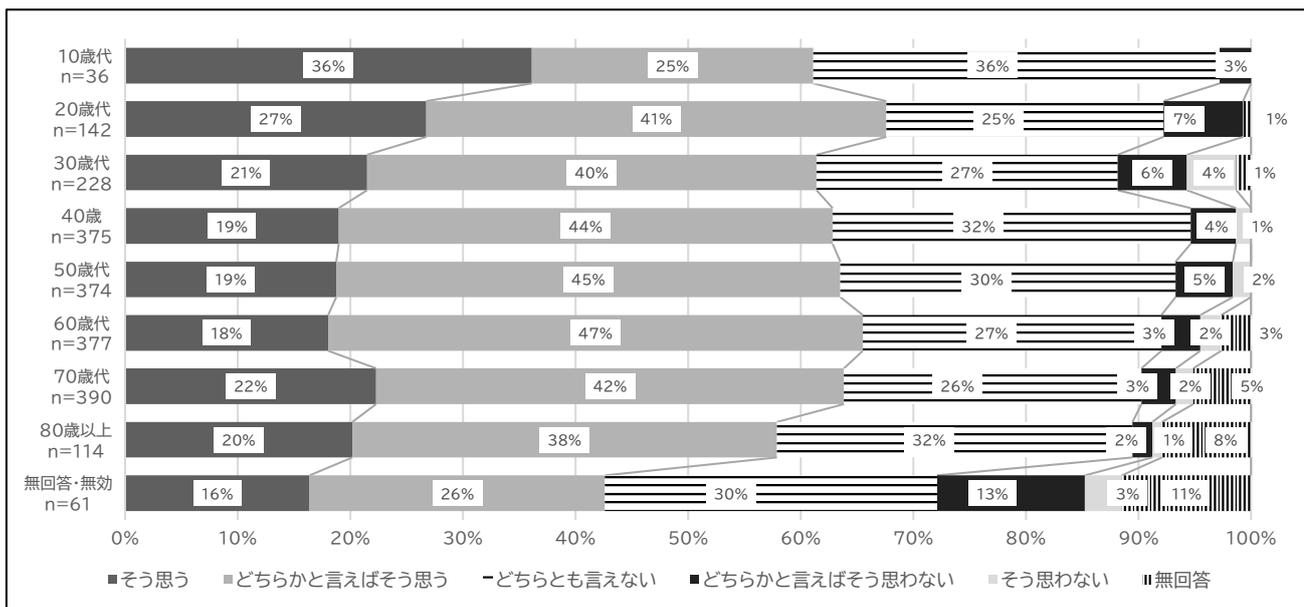
①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 42.4%であり、次いで「どちらとも言えない」が 28.4%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約6割であった。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6割を超えた。また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。

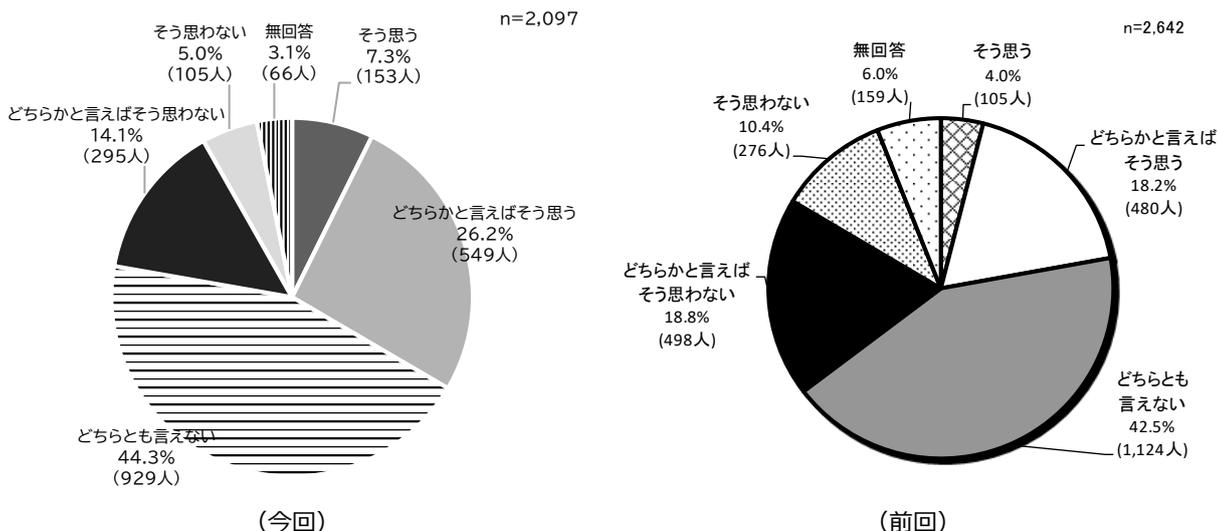


⑨ 会社や工場など働く場所が多い

①全体集計

「どちらとも言えない」が最も多く44.3%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約3割であり、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計を上回った。

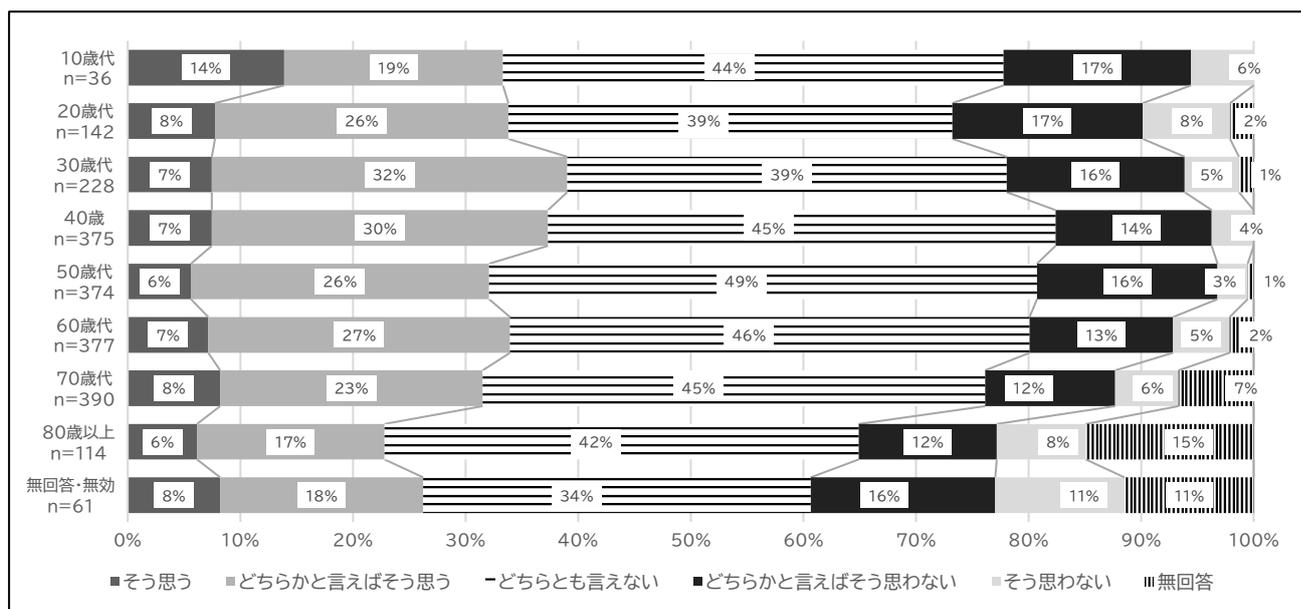
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の割合が高くなった。



②年代別集計

30歳代と40歳代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が約4割となった。

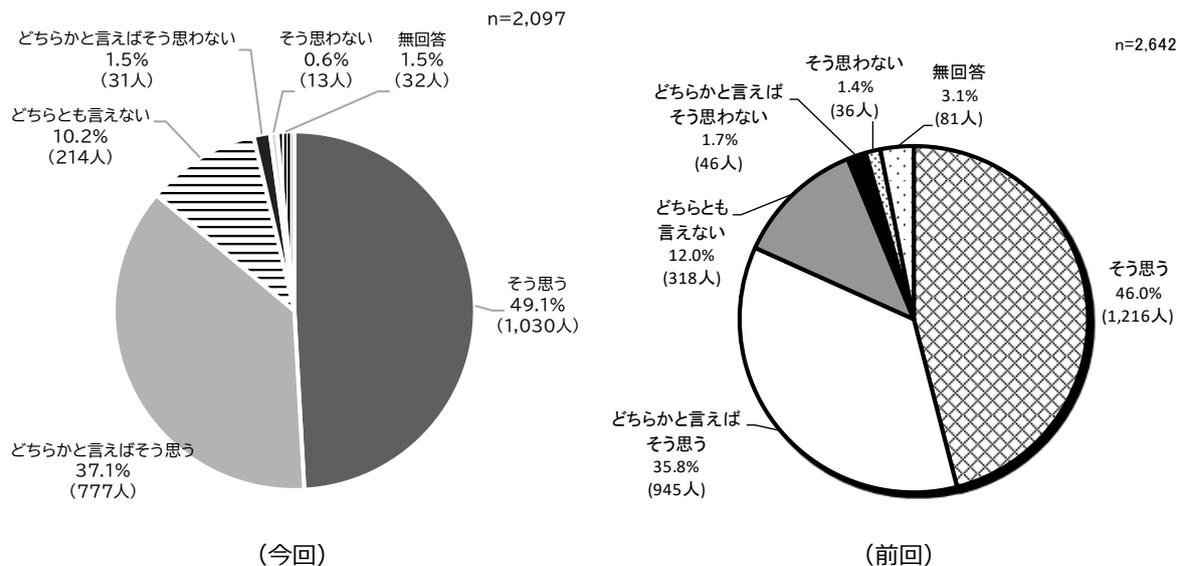
一方で、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、20歳代が25%で最も高かった。



⑩ 地震や台風、豪雨など自然災害が少ない

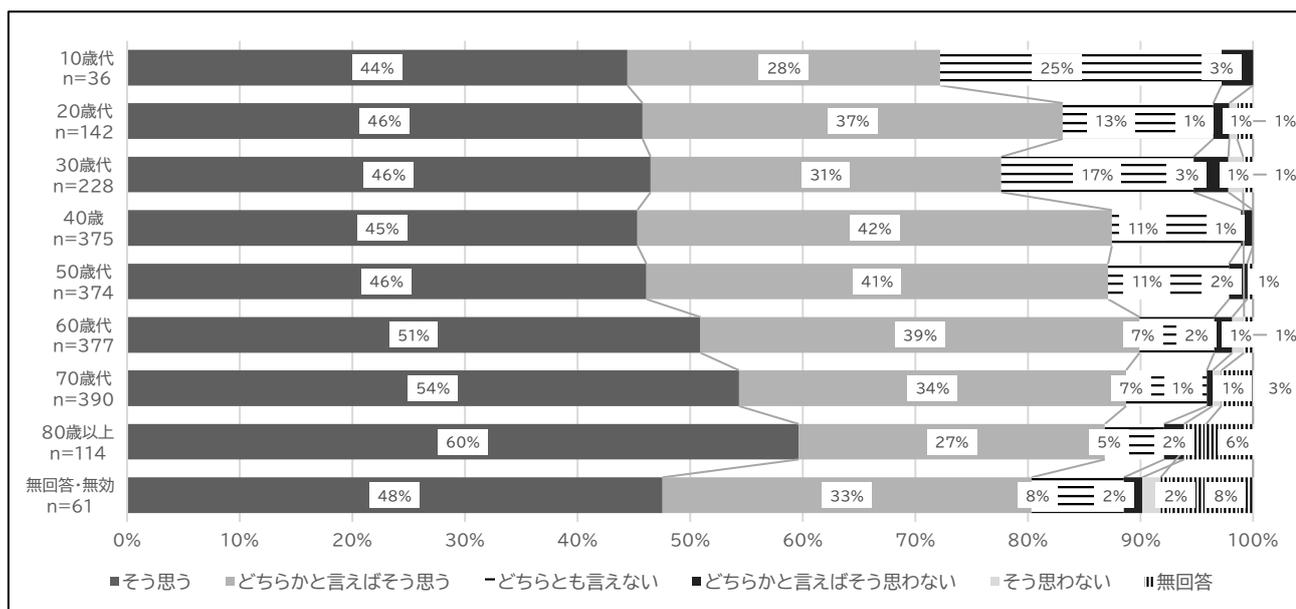
①全体集計

「そう思う」が最も多く 49.1%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が 37.1%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると9割近くになった。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

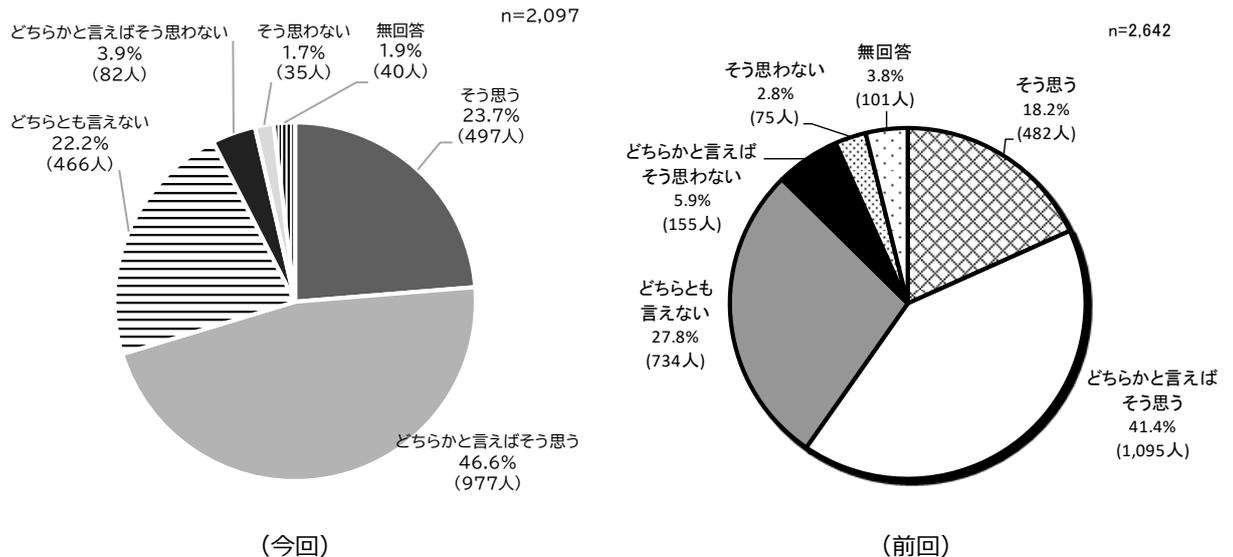
すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えており、10歳代、30歳代以外では8割を超えた。また、60歳代以上では「そう思う」が5割以上だった。



⑪ 治安が良い

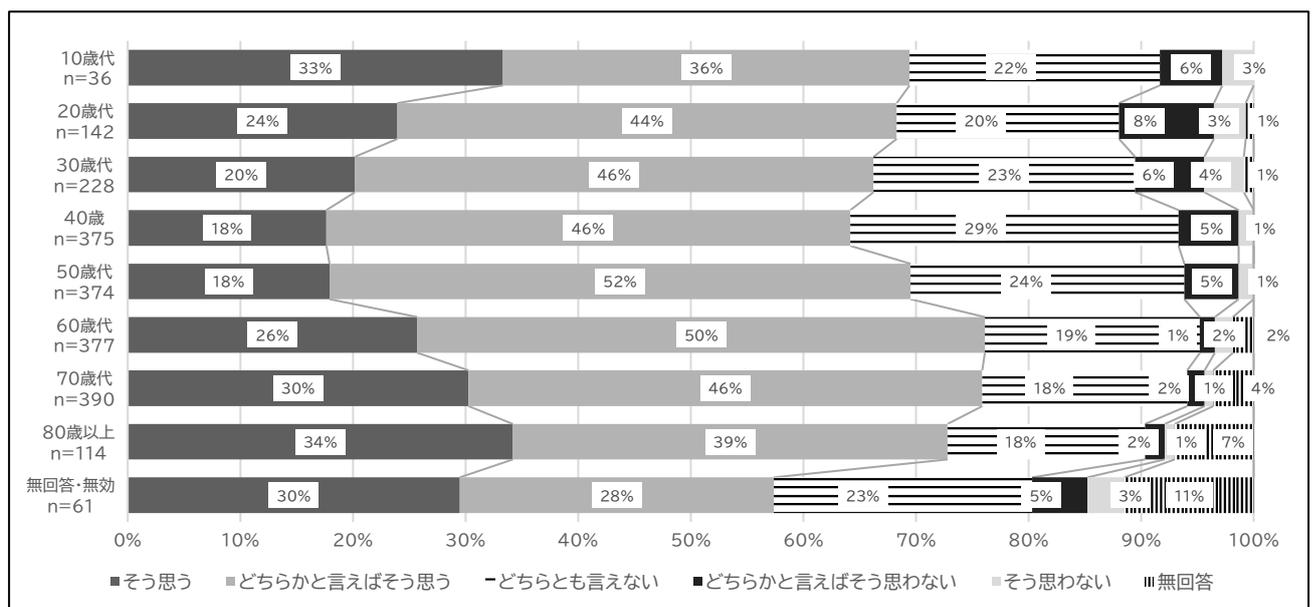
①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 46.6%であり、次いで「そう思う」が 23.7%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約7割であった。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6割を超えた。また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、20歳代(11%)を除くすべての年代で1割に満たなかった。



Ⅲ 調査の結果

2) 今後の明石のまちづくりについて (問2)

1. 調査目的

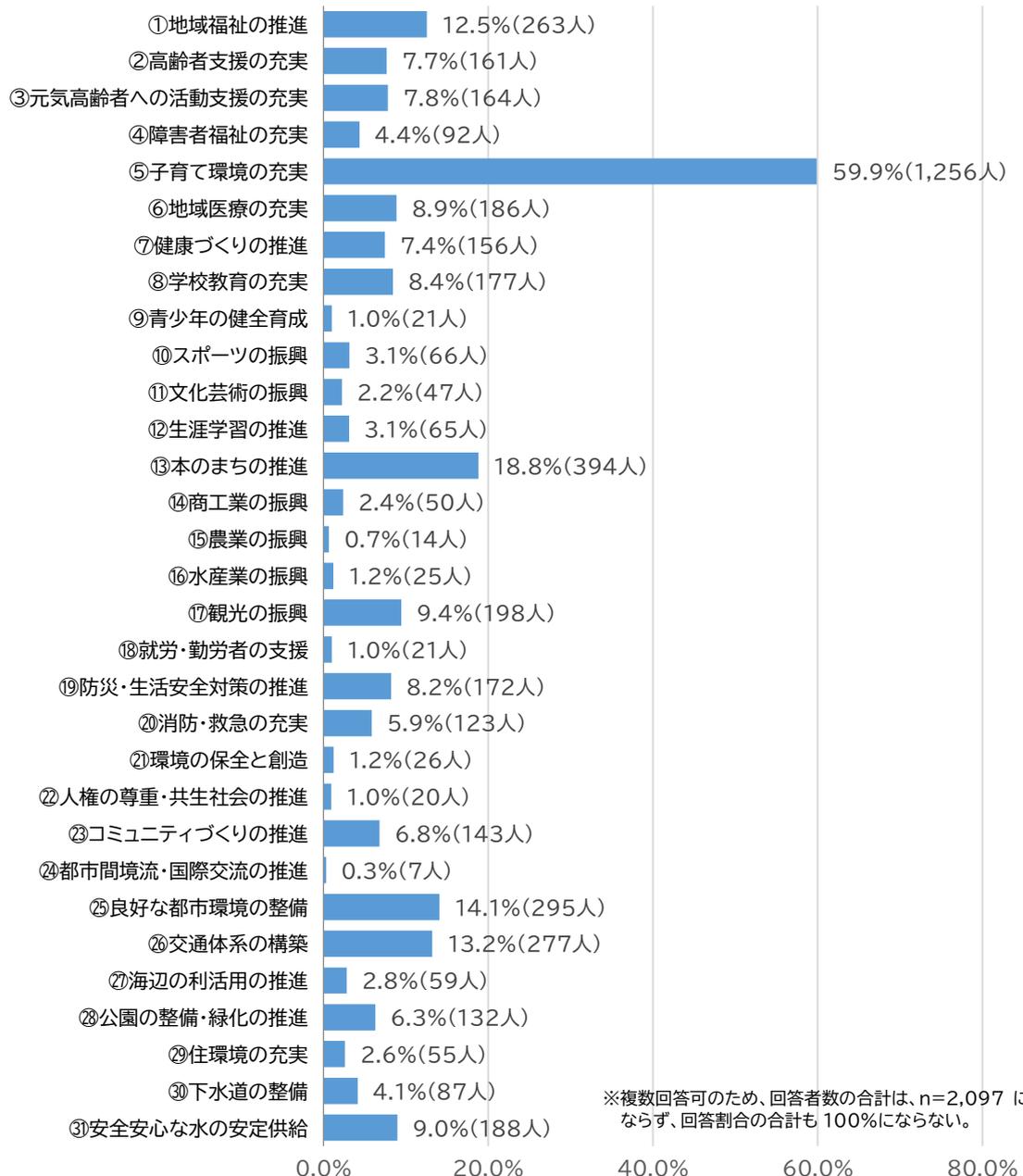
本市が進めてきたまちづくりの成果と課題について明らかにするとともに、今後の施策展開の参考にするため、「ここ数年、良くなった施策分野」、「今後、強く推進すべき施策分野」に関する調査を行った。

2. 集計結果

①全体集計

● ここ数年、良くなった分野（施策に対する満足度）（3つまで選択）

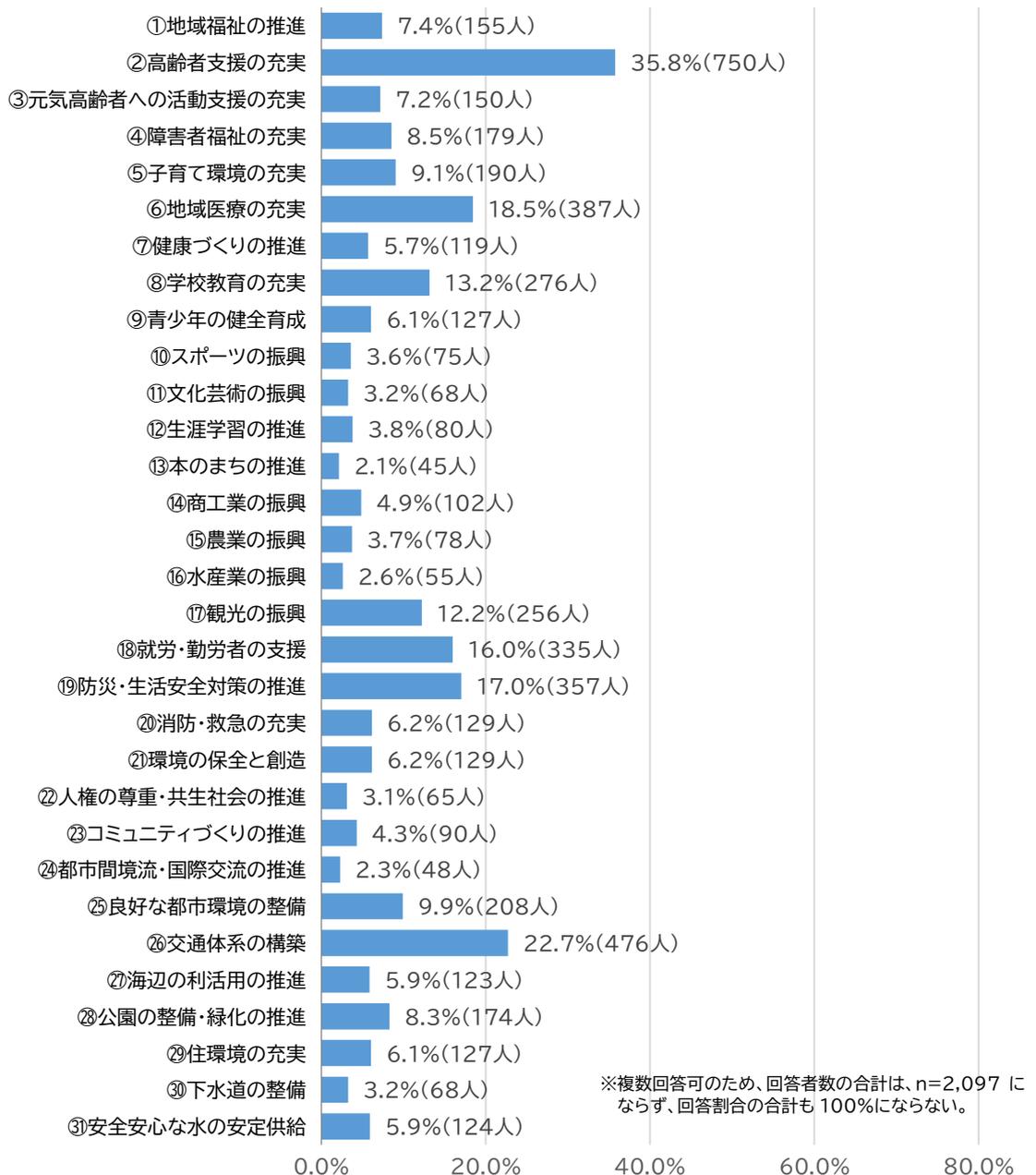
ここ数年、良くなった分野は、「子育て環境の充実」が最も多く 59.9%、次に「本のまちの推進」が 18.8%、「良好な都市環境の整備」が 14.1%であった。



※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=2,097 ならず、回答割合の合計も 100%にならない。

● 今後、強く推進すべき分野（施策の重要度）（3つまで選択）

今後、強く推進すべき分野は、「高齢者支援の充実」が最も多く 35.8%、次に「交通体系の構築」が 22.7%、「地域医療の充実」が 18.5%であった。



②年代別集計

●ここ数年、良くなった分野

すべての年代で「子育て環境の充実」が最も多く、20歳代から40歳代では7割以上が良くなったと回答した。また、80歳代未満のすべての年代では「本のまちの推進」が上位5位以内に入った。

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|-------------------|---------------------|------------------------|----------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 10歳代 (n=36) | 子育て環境の充実 (52.8%) | 地域福祉の推進/交通体系の構築(19.4%) | | 本のまちの推進/観光の振興/防災・生活安全対策の推進(16.7%) | |
| 20歳代 (n=142) | 子育て環境の充実 (71.1%) | 良好な都市環境の整備(21.1%) | 地域福祉の推進/観光の振興(15.5%) | | 本のまちの推進/交通体系の構築(13.4%) |
| 30歳代 (n=228) | 子育て環境の充実 (78.9%) | 本のまちの推進 (26.8%) | 良好な都市環境の整備(17.5%) | 観光の振興 (11.8%) | 交通体系の構築 (10.1%) |
| 40歳代 (n=375) | 子育て環境の充実 (72.3%) | 本のまちの推進 (24.5%) | 良好な都市環境の整備(16.8%) | 交通体系の構築 (13.3%) | 学校教育の充実 (12.8%) |
| 50歳代 (n=390) | 子育て環境の充実 (66.6%) | 本のまちの推進 (20.1%) | 良好な都市環境の整備(18.4%) | 交通体系の構築 (14.4%) | 地域福祉の推進 (13.1%) |
| 60歳代 (n=377) | 子育て環境の充実 (59.9%) | 交通体系の構築 (16.4%) | 本のまちの推進 (14.3%) | 地域福祉の推進 (13.3%) | 良好な都市環境の整備(12.2%) |
| 70歳代 (n=390) | 子育て環境の充実 (38.7%) | 元気高齢者への活動支援の充実(16.9%) | 本のまちの推進 (16.2%) | 安全安心な水の安定供給(13.3%) | 地域福祉の推進/高齢者支援の充実/交通体系の構築(12.3%) |
| 80歳代以上 (n=114) | 子育て環境の充実 (32.5%) | 元気高齢者への活動支援の充実(19.3%) | 安全安心な水の安定供給(14.9%) | 地域福祉の推進 (14.0%) | 高齢者支援の充実 (13.2%) |

●今後、強く推進すべき分野

10歳代と30歳代以外は「高齢者支援の充実」が、10歳代では「学校教育の充実」と「就労・勤労者の支援」が、30歳代では「学校教育の充実」の割合が最も多かった。

また、「防災・生活安全対策の推進」「交通体系の構築」がすべての年代で上位5位以内に入った。

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|-------------------|------------------------------|-----------------------------|----------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 10歳代 (n=36) | 学校教育の充実/就労・勤労者の支援 (22.2%) | | 観光の振興 (19.4%) | 防災・生活安全対策の推進/交通体系の構築(16.7%) | |
| 20歳代 (n=142) | 高齢者支援の充実 (25.4%) | 交通体系の構築 (24.6%) | 就労・勤労者の支援 (21.8%) | 学校教育の充実 (17.6%) | 観光の振興/防災・生活安全対策の推進(16.9%) |
| 30歳代 (n=228) | 学校教育の充実 (28.9%) | 子育て環境の充実/交通体系の構築 (21.1%) | | 防災・生活安全対策の推進(19.3%) | 高齢者支援の充実 (18.9%) |
| 40歳代 (n=375) | 高齢者支援の充実 (33.6%) | 交通体系の構築 (24.8%) | 就労・勤労者の支援 (22.1%) | 学校教育の充実 (21.3%) | 防災・生活安全対策の推進(18.9%) |
| 50歳代 (n=390) | 高齢者支援の充実 (40.9%) | 交通体系の構築 (23.0%) | 地域医療の充実 (20.9%) | 就労・勤労者の支援 (20.1%) | 防災・生活安全対策の推進(15.5%) |
| 60歳代 (n=377) | 高齢者支援の充実 (44.0%) | 交通体系の構築 (24.1%) | 防災・生活安全対策の推進(20.2%) | 地域医療の充実 (19.4%) | 就労・勤労者の支援 (12.2%) |
| 70歳代 (n=390) | 高齢者支援の充実 (40.3%) | 交通体系の構築 (20.8%) | 地域医療の充実 (17.4%) | 防災・生活安全対策の推進(14.6%) | 観光の振興 (10.8%) |
| 80歳代以上 (n=114) | 高齢者支援の充実 (38.6%) | 地域医療の充実 (22.8%) | 交通体系の構築 (17.5%) | 防災・生活安全対策の推進(12.3%) | 元気高齢者への活動支援の充実(10.5%) |

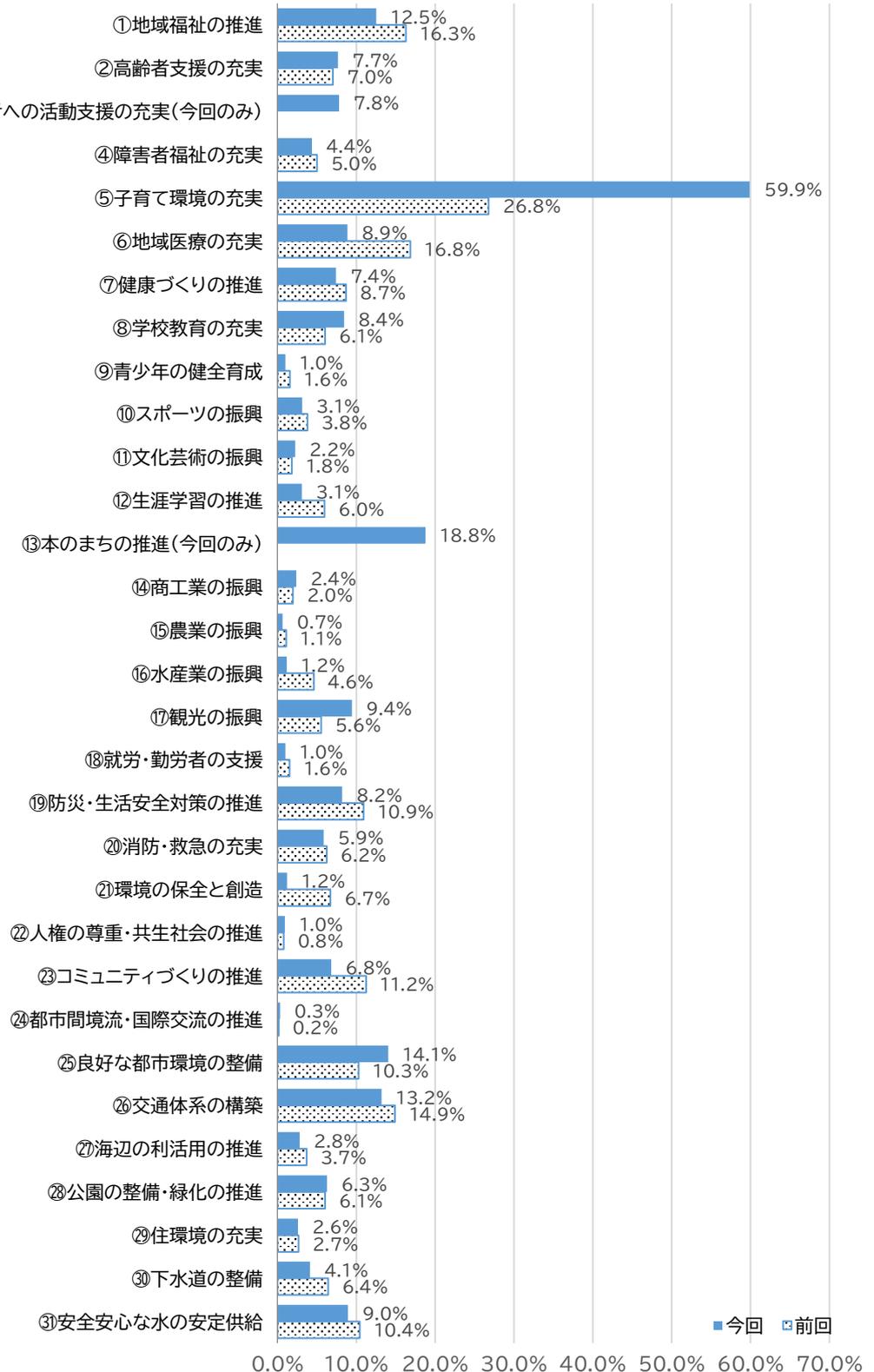
③前回比較集計

● ここ数年、良くなった分野

ここ数年、良くなった分野では「子育て環境の充実」の割合が大幅に高くなり、23.1ポイント上昇した。

また、新たに項目に加わった「本のまちの推進」が2位となった。

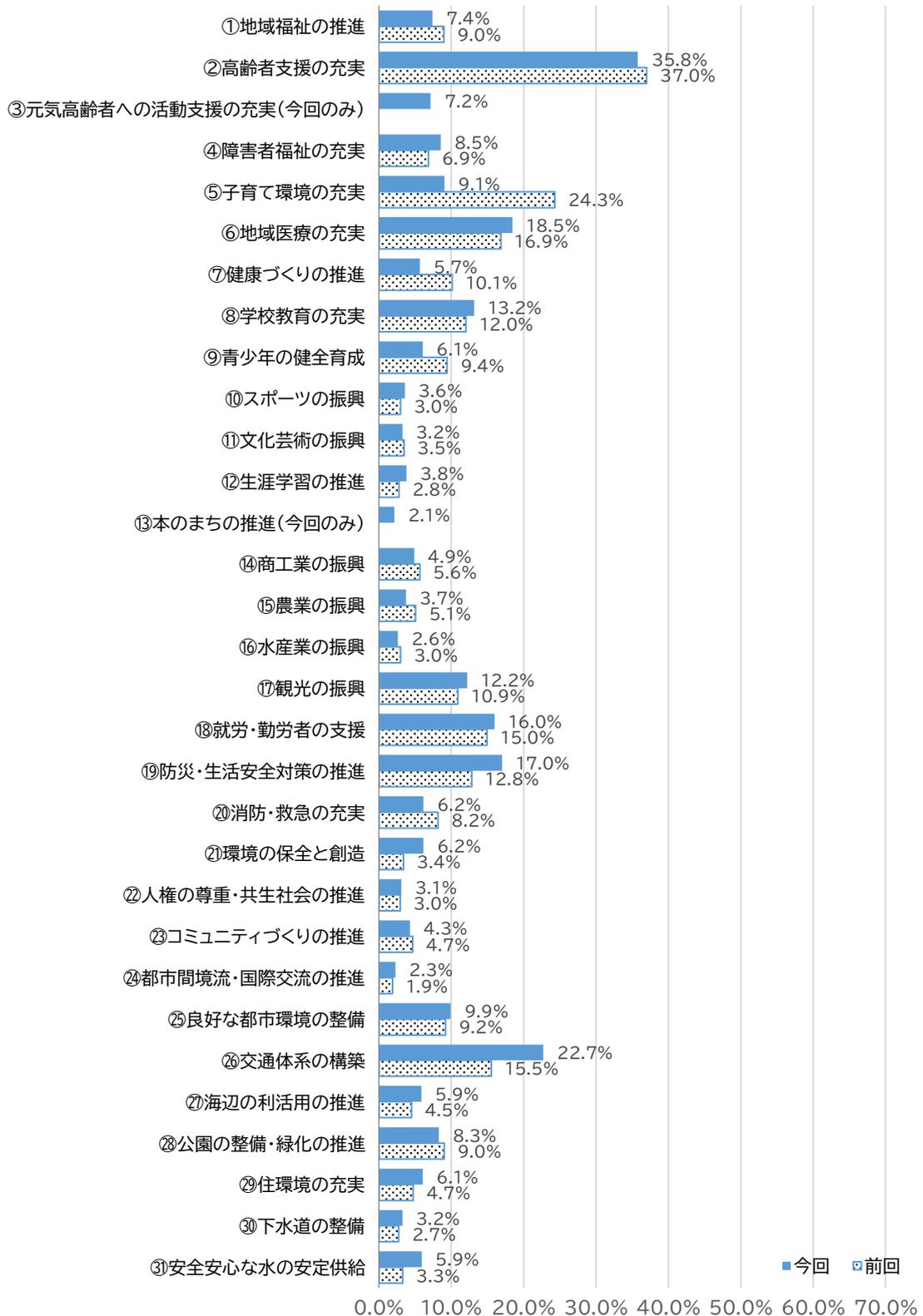
その他「良好な都市環境の整備」など、10項目で前回よりも割合が高くなった。



● 今後、強く推進すべき分野

今後、強く推進すべき分野では「交通体系の構築」が前回より高くなり、7.2ポイント上昇した。

その他「地域医療の充実」や「防災・生活安全対策の推進」など、17項目で前回よりも割合が高くなった。



Ⅲ 調査の結果

3) 市民の皆様の意識や行動について (問3)

1. 調査目的

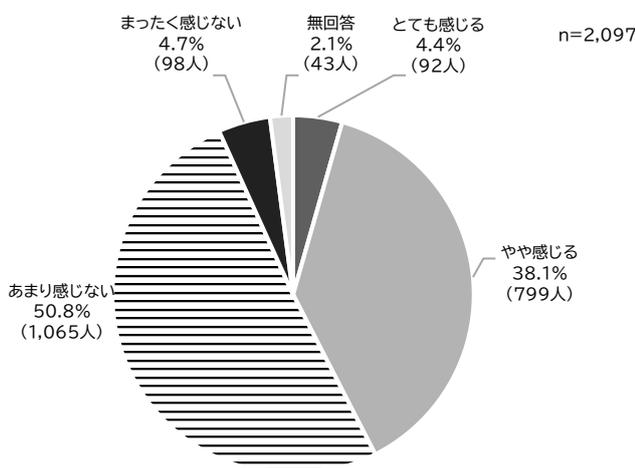
まちづくりの進捗状況の確認や今後の施策展開の参考とするため、市民の皆さまの意識や行動について調査を行った。

なお、各設問のうち、前回調査 (H27. 3～4月実施) と同じ又は同内容のものについて、調査結果の比較を行った。

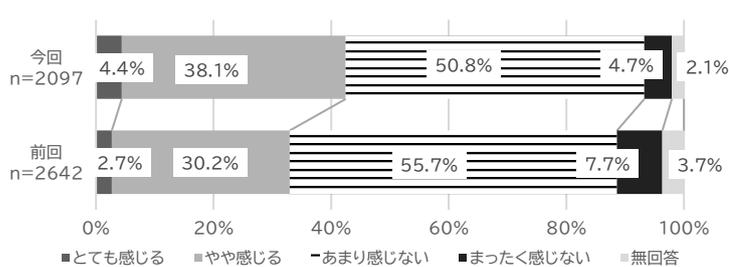
2. 各設問の集計結果

【健康・福祉分野】

① 支援が必要な高齢者や障害者などを地域で支え合う地域福祉活動が推進されていると感じますか？

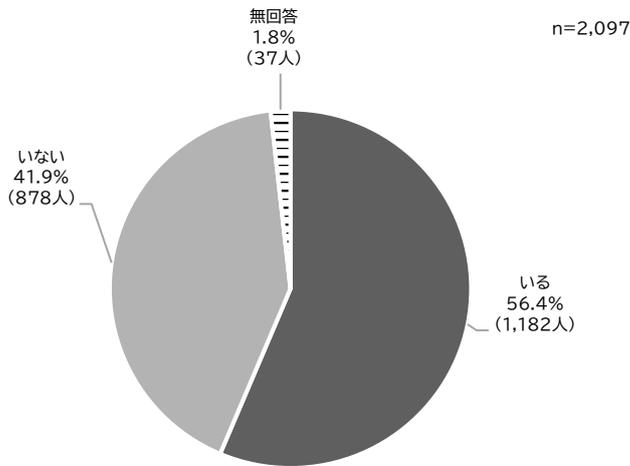


「あまり感じない」と答えた割合が約5割で半数以上を占め、「まったく感じない」とあわせると5.5割を超える結果であった。年代別に見ると、10歳代と80歳代で「とても感じる」、「やや感じる」の合計割合が5割を超えるが、それ以外は全て5割を下回った。



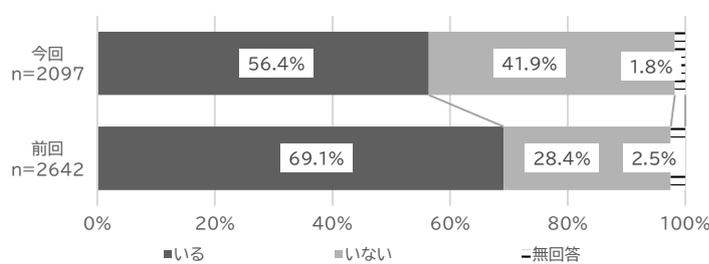
前回と比較して「とても感じる」、「やや感じる」の合計割合が9.6ポイント高くなり、「あまり感じない」、「まったく感じない」の合計割合が7.9ポイント低くなった。

② 普段の生活で何か困ったことがあったとき、相談できる人が地域にいますか？



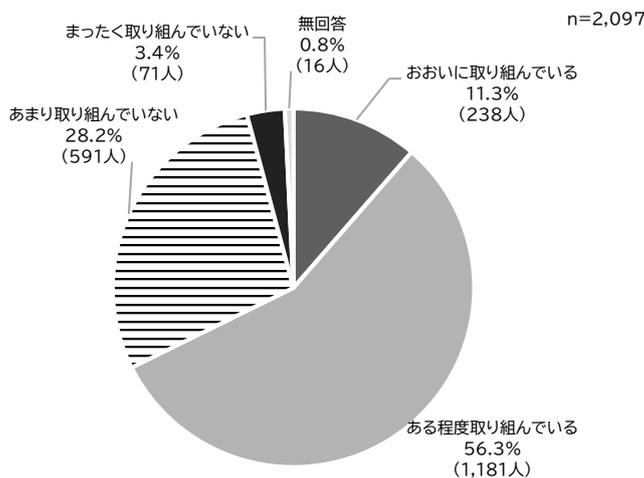
「いる」と答えた割合が6割を割り、「いない」と答えた割合が4割を超えた。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「いる」の割合が低くなる傾向があり、10歳代では8割近くだが、70歳代以降では5割程度になった。



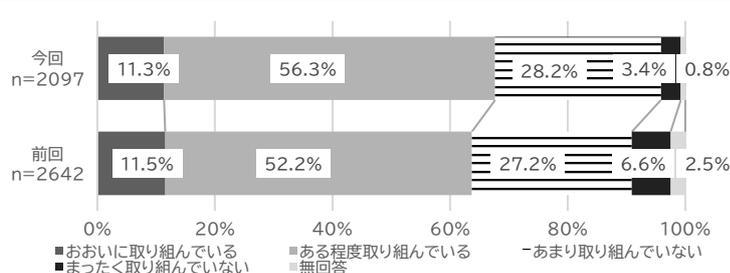
「いる」と答えた割合は、前回と比較して、13ポイント近くも低下した。

③ 日常生活の中で、健康のためによい生活習慣（食事や運動など）に取り組んでいますか？



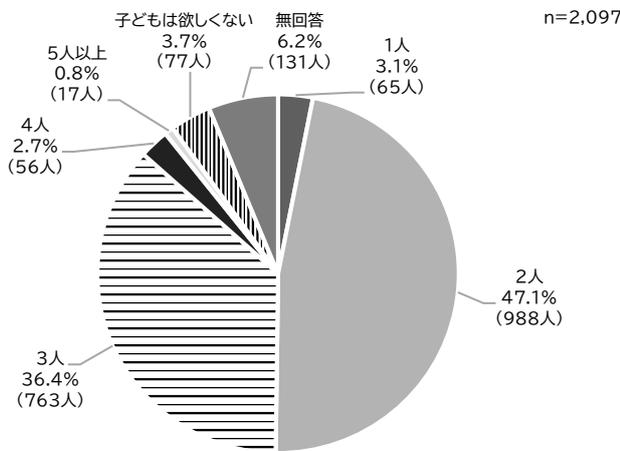
「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計は約7割であった。

年代別にみると、年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向があり、60歳代以上では7割を超えていた。



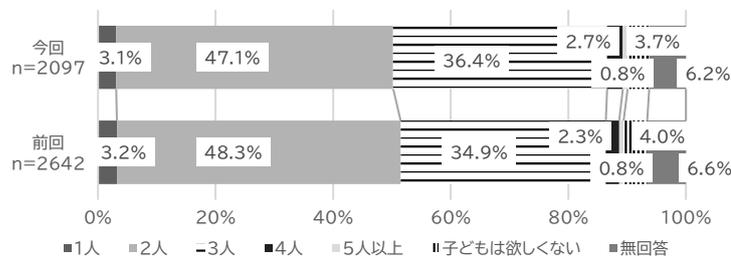
前回と比較して「ある程度取り組んでいる」の割合が4.1ポイント高くなった。

④-1 あなたの理想の子どもの数は何人ですか？



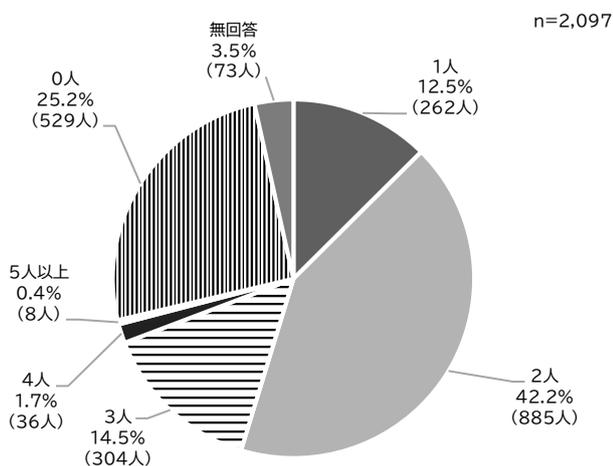
「2人」が最も多く47.1%、次に「3人」が36.4%、「子どもは欲しくない」が3.7%であった。

年代別にみると、20歳代は「2人」が6割を超え、「3人」が2割だった。30歳代は「2人」が約6割、「3人」が約3割、40歳代は「2人」が約5割、「3人」が約3割だった。



前回と比較して大きな変化は見られなかった。

④-2 現在、子どもは何人いますか？



「2人」が最も多く42.2%、次に「0人」が25.2%、「3人」が14.5%であった。

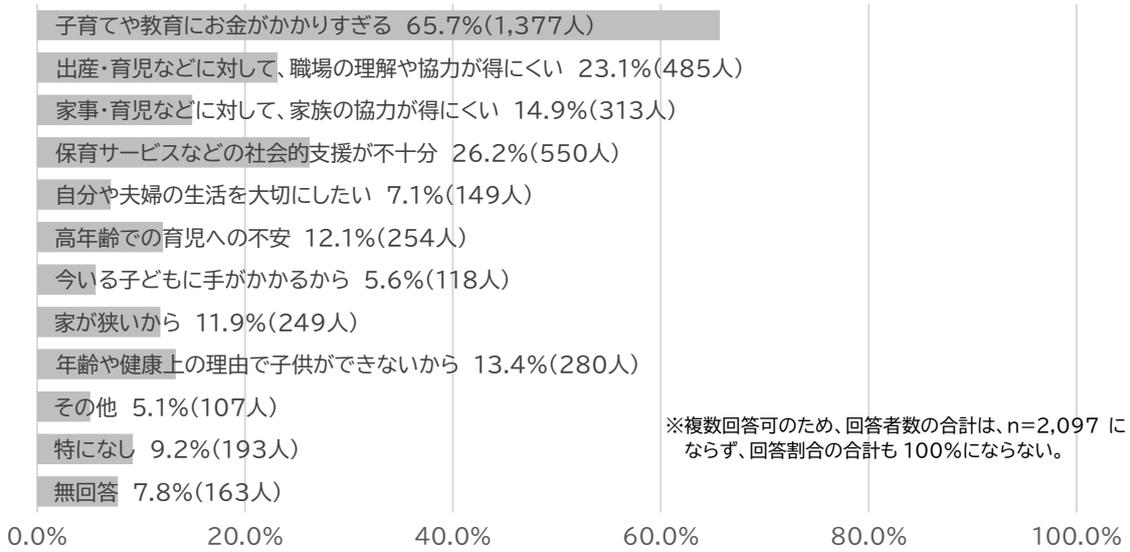
年代別にみると、20歳代は「1人」と「2人」を合わせて約1割だった。30歳代、40歳代は「2人」が約4割だった。

⑤ 理想の子ども数が、結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか？（3つまで選択）

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も多く 65.7%、次に「保育サービスなどの社会的支援が不十分」が 26.2%、「出産・育児などに対して、職場の理解や協力が得にくい」が 23.1%であった。

その他の内訳は、「経済的な事情」、「身体健康上の事情」、「独身、未婚のため」などであった。

年代別に見ると 10 歳代から 30 歳代では、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」の割合が 7 割を超えていた。

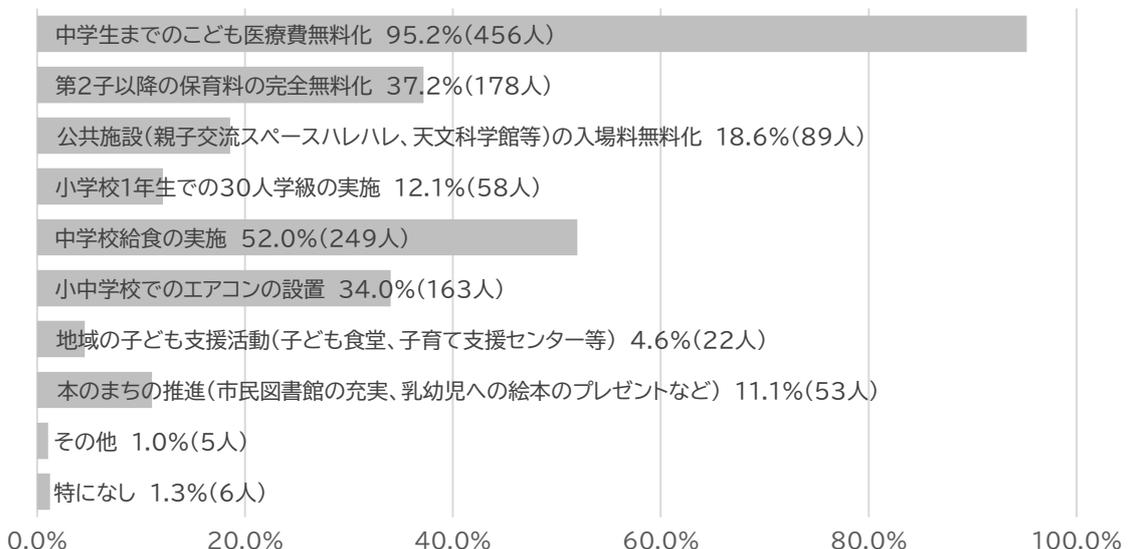


⑥ 明石市で子育てをして、良かったと思う施策は何ですか。（3つまで選択）

※18歳以下の子どもを持つ保護者のみ回答

「中学生までのこども医療費無料化」が最も多く 95.2%、次に「中学校給食の実施」が 52.0%、「第2子以降の保育料の完全無料化」が 37.2%であった。

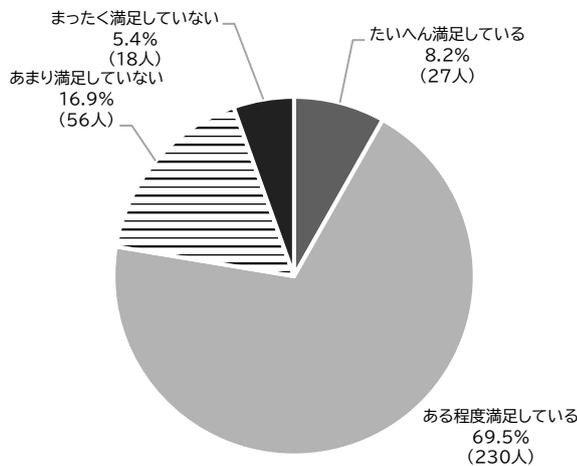
年代別に見ると、「中学生までのこども医療費無料化」は全年代で 9 割を超えていた。また、20 歳代から 30 歳代では「第2子以降の保育料の完全無料化」が、40 歳代では「中学校給食の実施」が、それぞれ 6 割を超えていた。



【教育・文化分野】

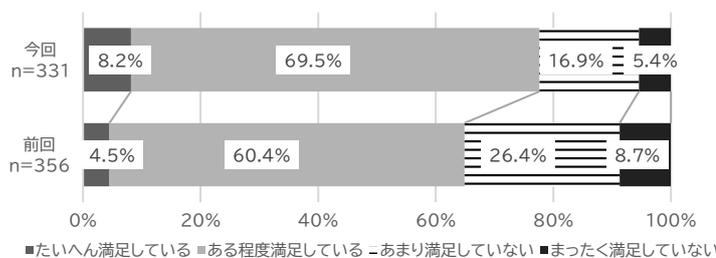
⑦ 市立学校における学習指導に対して満足していますか

※市立小・中学校、明石商業高校に通学する児童、生徒がいる保護者のみ回答



「たいへん満足している」と「ある程度満足している」の合計が約8割であった。

年代別にみると、年代が低い方が満足している傾向が見られた。



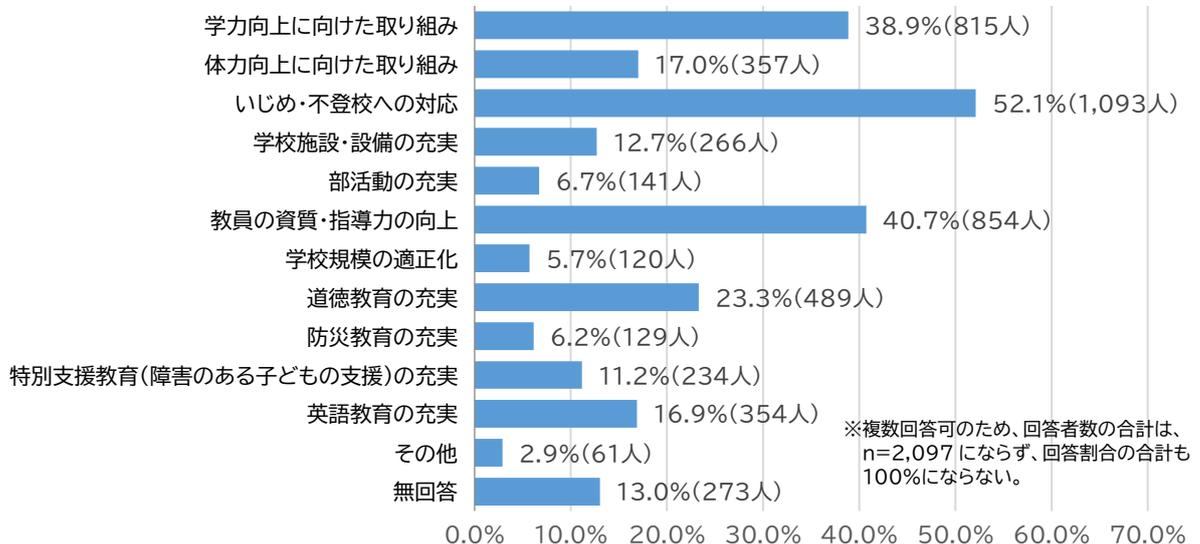
前回と比較して満足している人の割合が12.7ポイント増加した。

⑧ 市立学校における学校教育の一層の充実に向けて、特に力を入れる必要があると思うことは何ですか？（3つまで選択）

「いじめ・不登校への対応」が最も多く52.1%、次に「教員の資質・指導力の向上」が40.7%、「学力向上に向けた取り組み」が38.9%であった。

その他の内訳は、「教員の増員、負担軽減等環境向上」、「学校環境の改善」、「ICT教育」などであった。

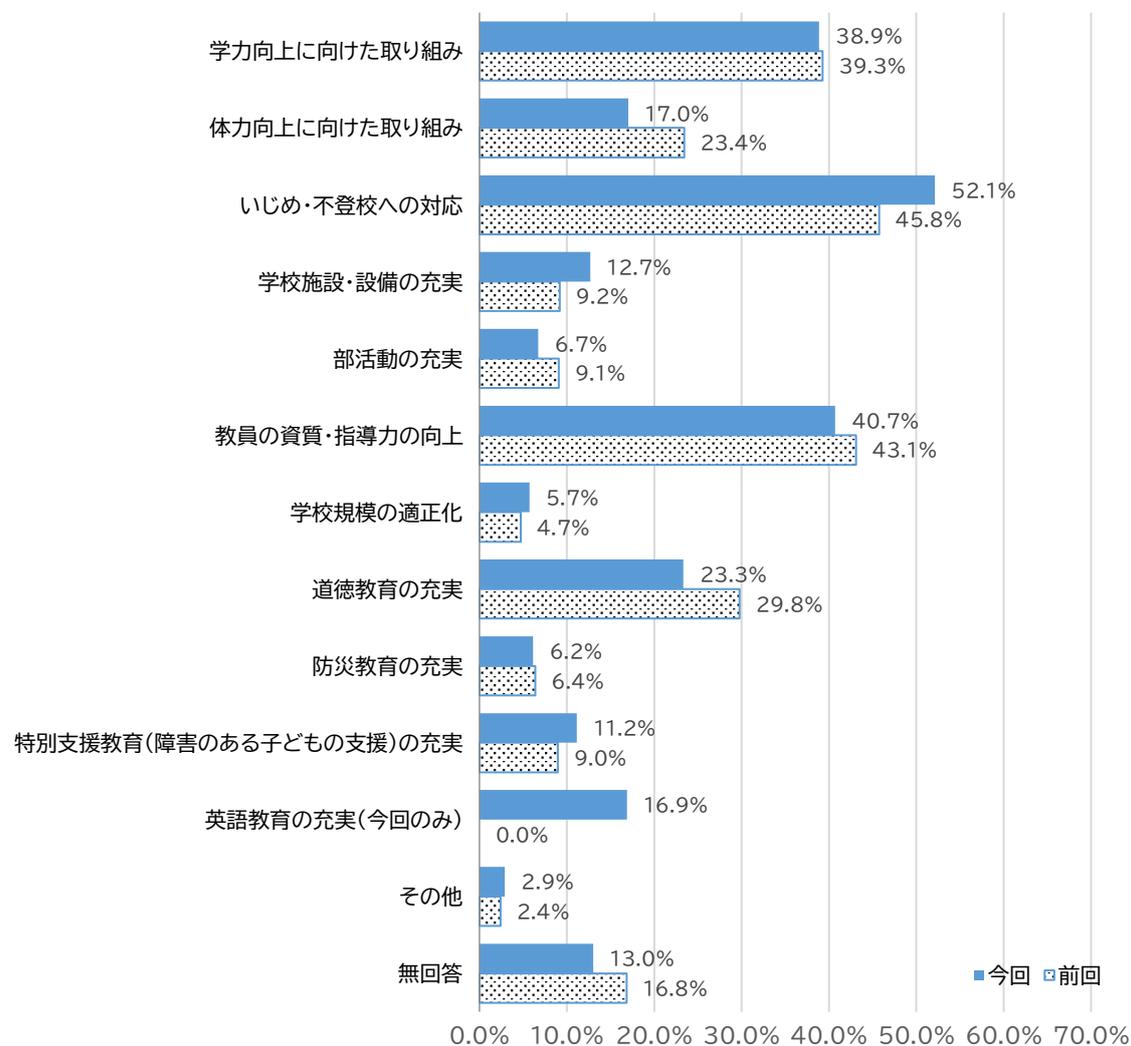
年代別に見ると、70歳代まで上位3位までに大きな違いはないが、第4位が20歳代から40歳代では「英語教育の充実」が、50歳代から70歳代では「道徳教育の充実」となった。



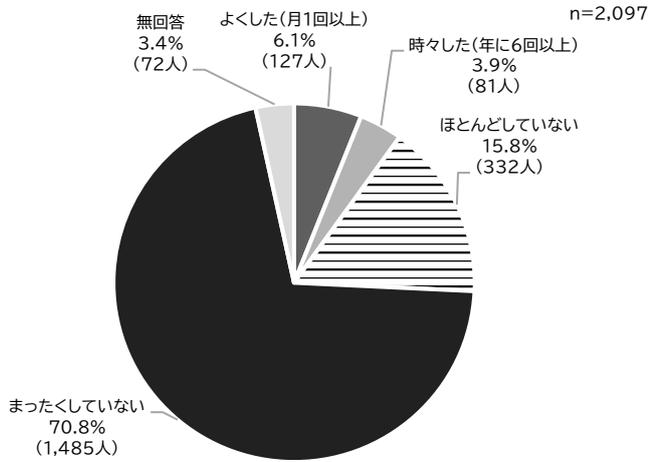
※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=2,097にならず、回答割合の合計も100%にならない。

前回と比較して「いじめ・不登校への対応」が 6.3 ポイント増加した一方で、「道徳教育の充実」は 6.5 ポイント減少した。

また、「体力向上に向けた取り組み」も 6.4 ポイント減少した。

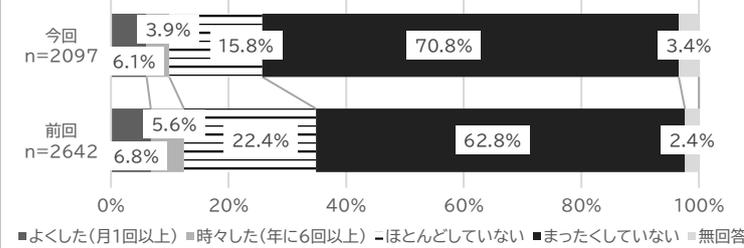


⑨ この1年程度の間、生涯学習活動をしましたか？



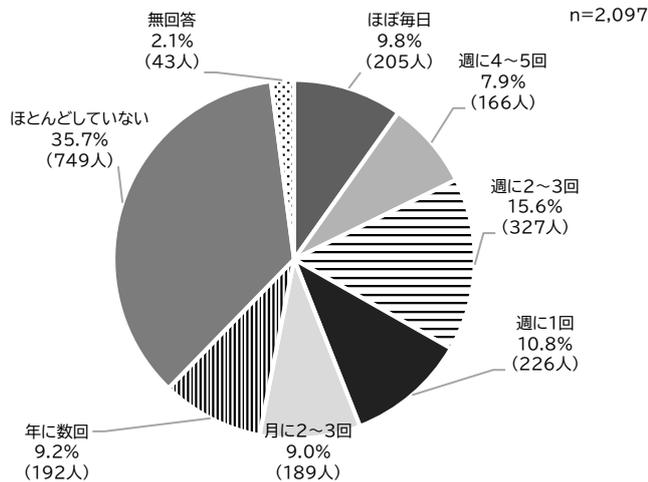
「まったくしていない」と「ほとんどしていない」の合計が約8.5割であった。

年代別にみると、50歳代までは「ほとんどしていない」と「まったくしていない」の合計が9割であった一方で、70歳代では約2割が活動をしていた。



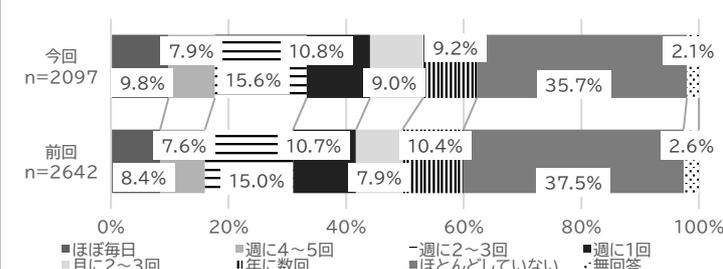
前回と比較して、「まったくしていない」の割合が8ポイント増加した。

⑩ この1年程度の間、スポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をしましたか？



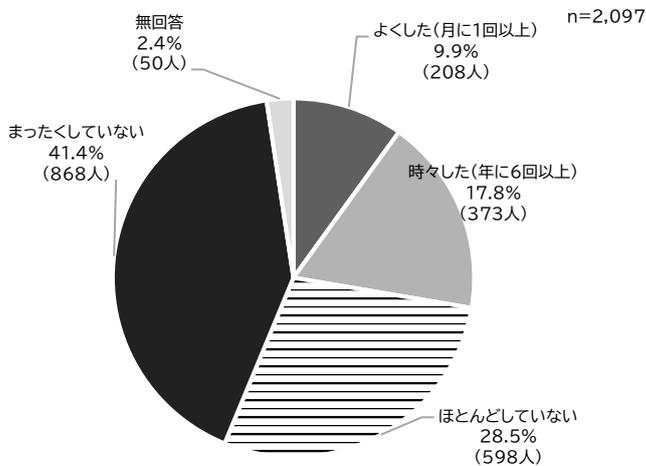
「ほとんどしていない」が最も多く35.7%、次に「週に2~3回」が15.6%、「週に1回」が10.8%であった。

年代別にみると、60歳代以上では「ほぼ毎日」と「週に4~5回」の割合が2割を超えていた。



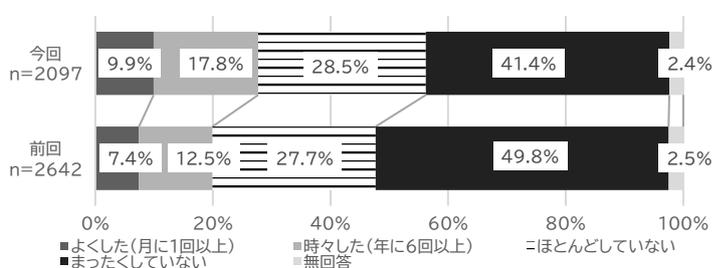
前回と比較して大きな変化は見られなかった。

⑪ この1年程度の間、文化芸術活動をしましたか？



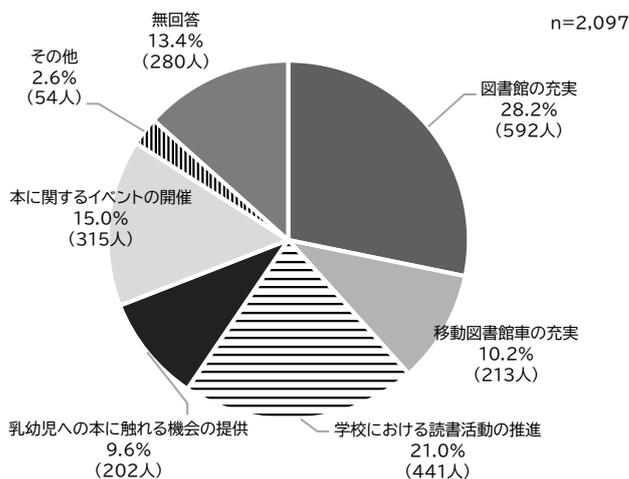
「まったくしていない」と「ほとんどしていない」の合計が約7割であった。

年代別に見ると、10歳代、20歳代は活動をしている人が4割を超えていた。



前回と比較して、活動している人の割合が増加した。

⑫ 本のまちの推進に向けて、特に力を入れる必要がある取組は何ですか



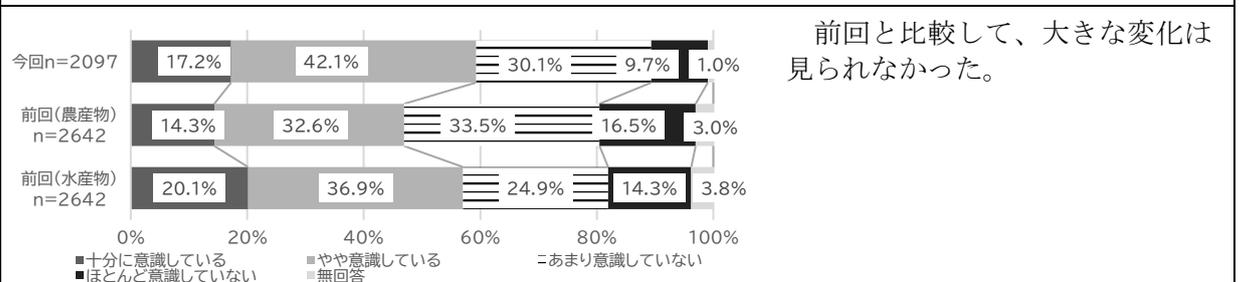
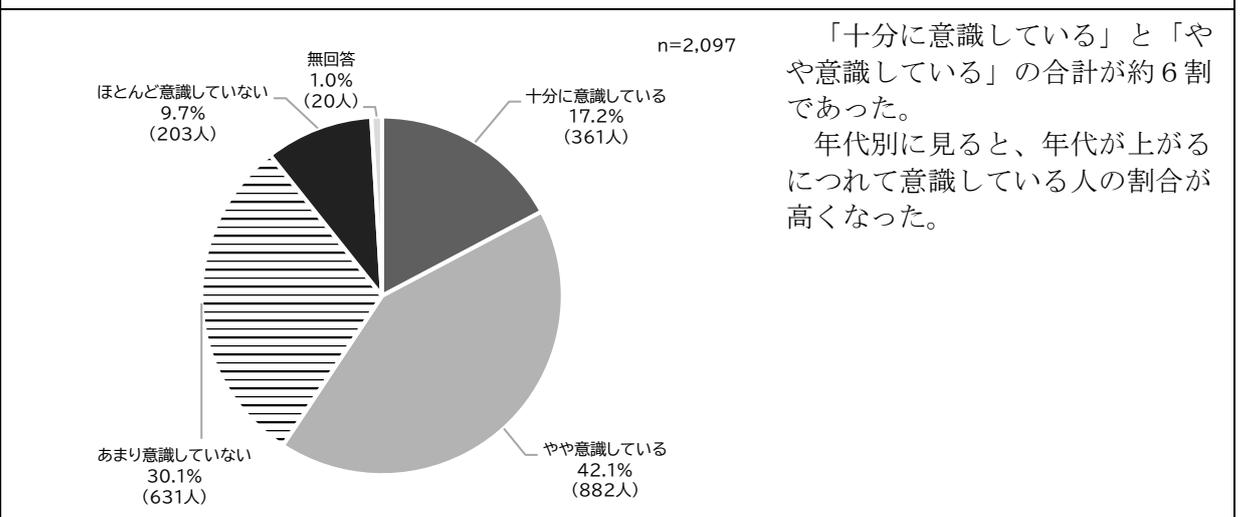
「図書館の充実」が最も多く28.2%、次に「学校における読書活動の推進」が21.0%、「本に関するイベントの開催」が15.0%であった。

その他の内訳は、「図書館の整備」、「地域への働きかけ」などであった。

年代別に見ると、30歳代と80歳以上で「学校における読書活動の推進」が1位となっており、それ以外の年代では、「図書館の充実」が1位となっていた。

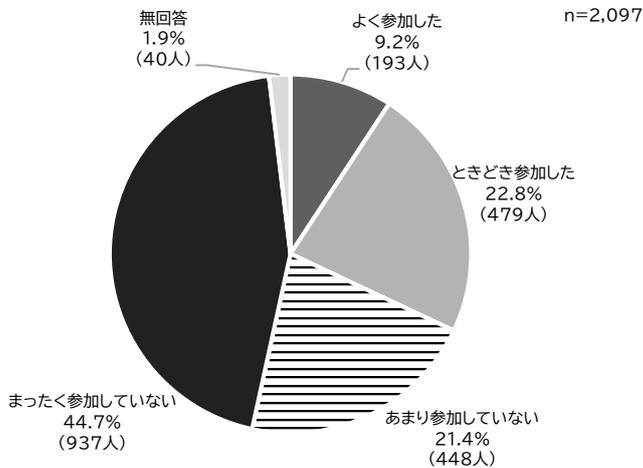
【観光・産業分野】

⑬ 農水産物を購入する際に、明石産であることを意識していますか？



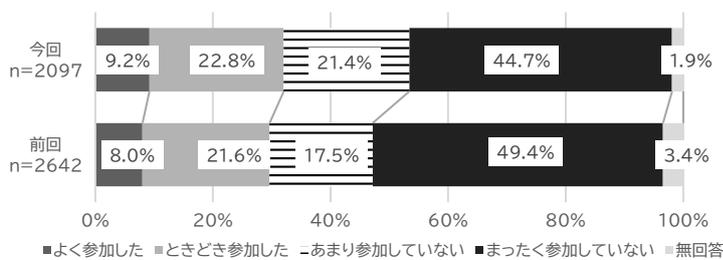
【生活・環境分野】

⑭ この1年程度の間に、地域のまちづくり活動（自治会活動やボランティア活動など）に参加しましたか？



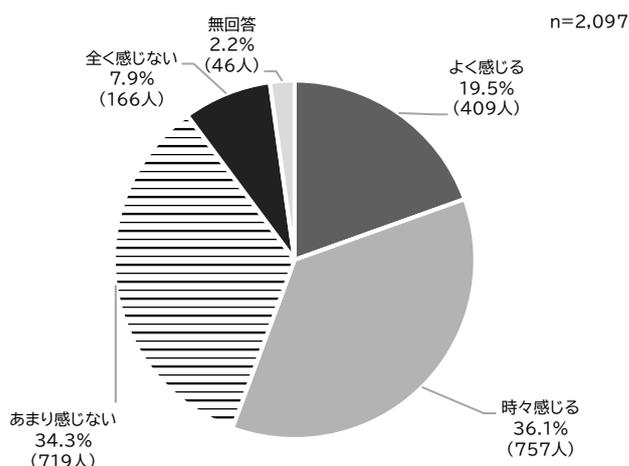
「まったく参加していない」と「あまり参加していない」の合計が約6.5割であった。

年代別に見ると、10歳代、20歳代が特に「まったく参加していない」と「あまり参加していない」の合計割合が高く、約9割であった。



前回と比較して、参加している人が2.4ポイント増加した。

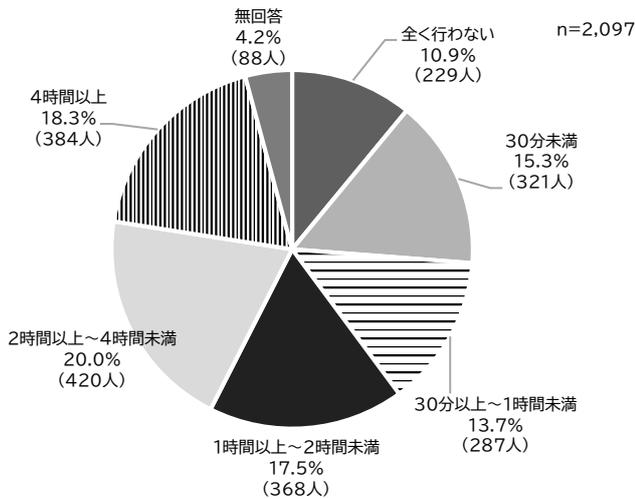
⑮ 日常生活の中で、男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」という考えなど）を感じることはありますか？



「よく感じる」と「時々感じる」の合計が約5.5割であった。

年代別に見ると、30歳代と60歳代で「よく感じる」の割合が2割を超えていた。

⑯ あなたは家庭で家事・育児・介護を1日あたりどの程度行っていますか？

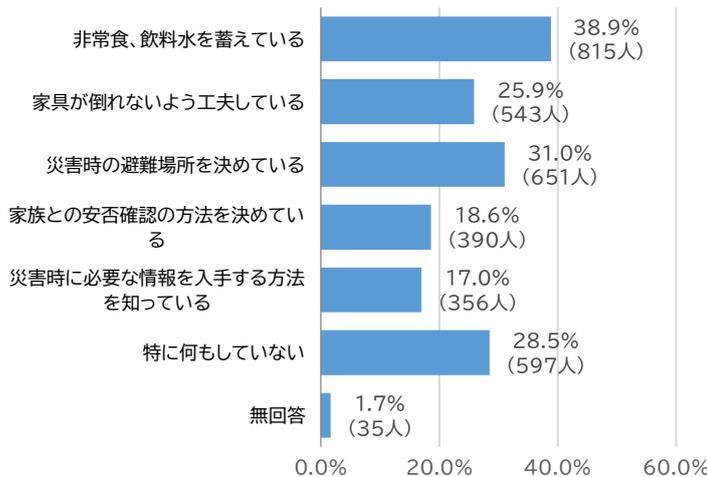


「2時間以上～4時間未満」が最も多く 20.0%、次に「4時間以上」が 18.3%、「1時間以上～2時間未満」が 17.5%であった。

年代別に見ると、10歳代、20歳代が特に「全く行わない」と「30分未満」の割合が高く、6割を超えた。

男女別で見ると、男性は1時間未満の割合が約7割に対し、女性は2時間以上の割合が約5.5割となった。

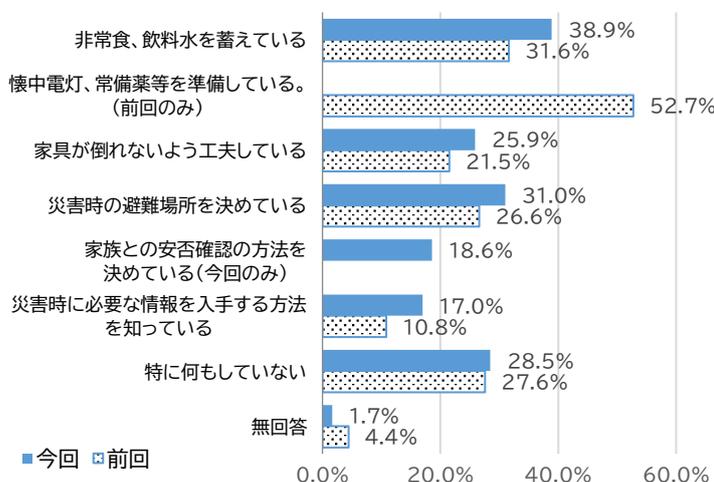
⑰ 地震や風水害などの災害に備えて、行っている対策はありますか？（あてはまるものをすべて選択）



「非常食、飲料水を蓄えている」が最も多く 38.9%、次に「災害時の避難場所を決めている」が 31.0%、「特に何もしていない」が 28.5%であった。

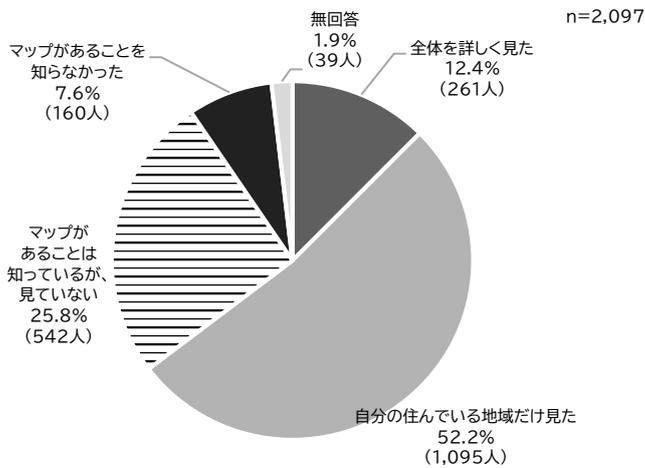
年代別に見ると、50歳代、60歳代が「家具が倒れないように工夫している」の割合が少し高く、約3割であった。

※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=2,097にならず、回答割合の合計も100%にならない。



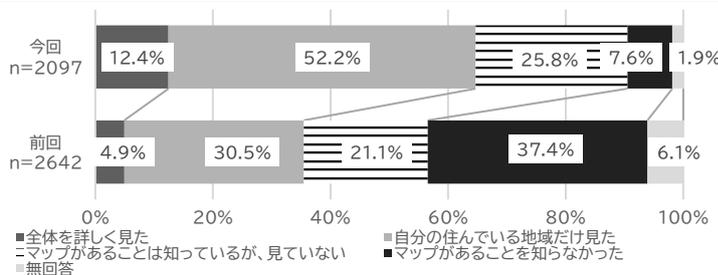
前回と比較して、全体的に対策を行っている人が増えている。一方で、「特に何もしていない」の割合に大きな変化は見られなかった。

⑱ 市では「ハザードマップ」を作成していますが、どの程度見えていますか？



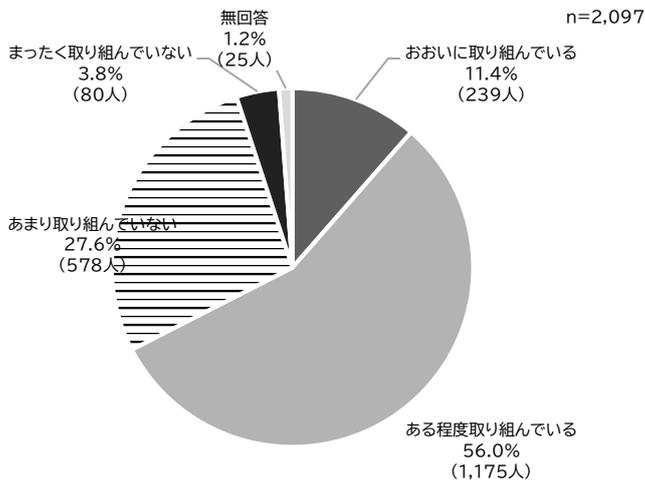
「全体を詳しく見た」と「自分が住んでいる地域だけを見た」の合計が約6.5割であった。

年代別に見ると、「全体を詳しく見た」と「自分が住んでいる地域だけを見た」の合計が、10歳代で2割弱、20歳代で約3.5割と低くなっていた。



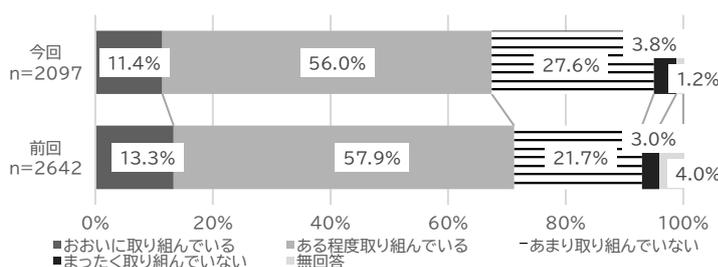
前回と比較して、マップを見た人が倍増に近い一方で、マップの存在を知らなかった人が激減した。

⑲ 電気、ガス、ガソリンの使用量を減らすなど、普段から省エネ活動に取り組んでいますか？



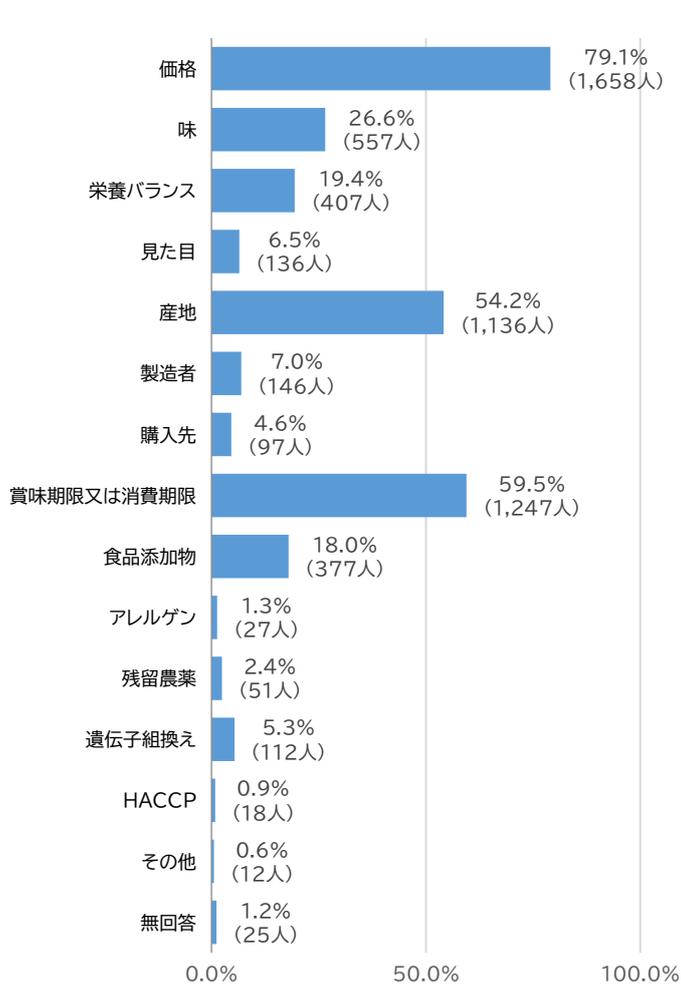
「おおいいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計が約6.5割であった。

年代別に見ると、年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向にあり、60歳代以上で7割を超えていた。



前回と比較して、活動に取り組んでいる人が減少し、「あまり取り組んでいない」人が増加した。

⑳ 食品を購入する際に重視することは何ですか？（3つまで選択）



「価格」が最も多く 79.1%、次に「賞味期限又は消費期限」が 59.5%、「産地」が 54.2%であった。

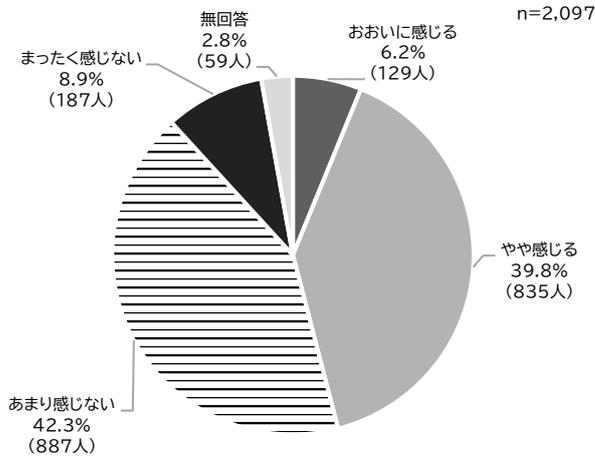
その他の内訳は「国産」、「鮮度」、「塩分量」、「扱いやすさ」などであった。

年代別に見ると、若い世代ほど「味」の割合が高くなる傾向にある一方で、年代が上がるにつれて「賞味期限又は消費期限」の割合が高くなっていった。

※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=2,097 ならず、回答割合の合計も 100%にならない。

【都市基盤整備分野】

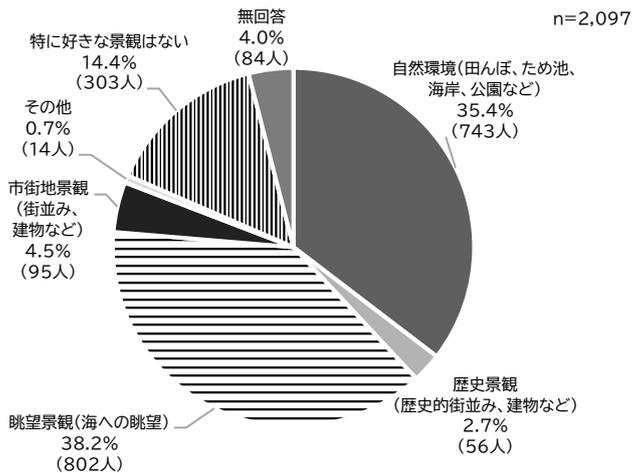
②① お住まいの地域の道路は安全と感じますか？



「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計が約5割を超えていた。

年代別に見ると、30歳代と40歳代が「まったく感じない」と「あまり感じない」の合計が約6割と高くなっていった。

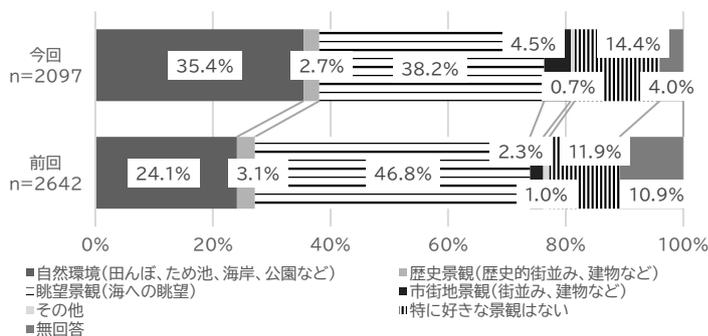
②② 市内やお住まいの地域で、好きな景観は何ですか？



「眺望景観(海への眺望)」が最も多く38.2%、次に「自然環境(田んぼ、ため池、海岸、公園など)」が35.4%、「特に好きな景観はない」が14.4%であった。

その他の内訳は、ほとんどが「明石海峡大橋」であった。

年代別に見ると、10歳代から50歳代では、「眺望景観(海への眺望)」が4割を超えている一方で、60歳代と70歳代では、「自然環境(田んぼ、ため池、海岸、公園など)」の割合が、約4割であった。

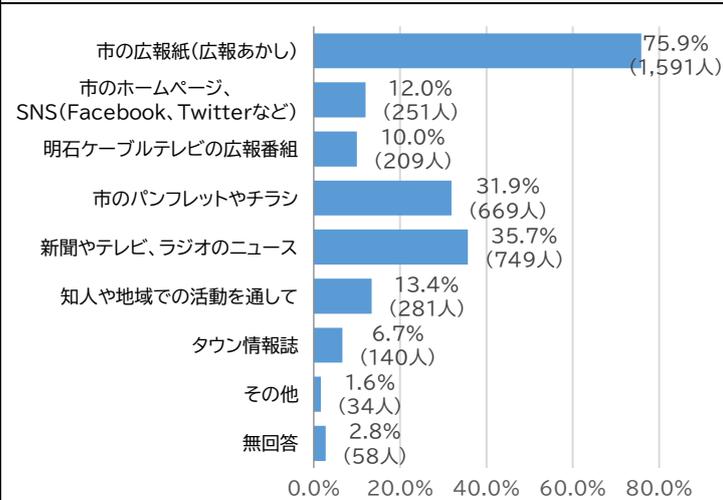


前回と比較して、「自然環境」を選択する人が大きく増加した。

一方で「眺望景観(海への眺望)」を選択する人が減少した。

【行政経営分野】

② 市の取組や計画に関する情報を主に何から得ていますか？（3つまで選択）

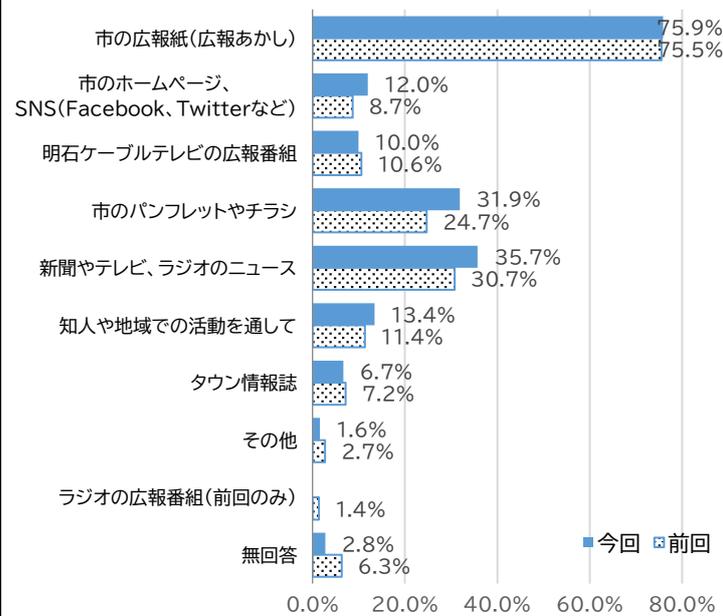


※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=2,097にならず、回答割合の合計も100%にならない。

「市の広報紙（広報あかし）」が最も多く75.9%、次に「新聞やテレビ、ラジオのニュース」が35.7%、「市のパンフレットやチラシ」が31.9%であった。

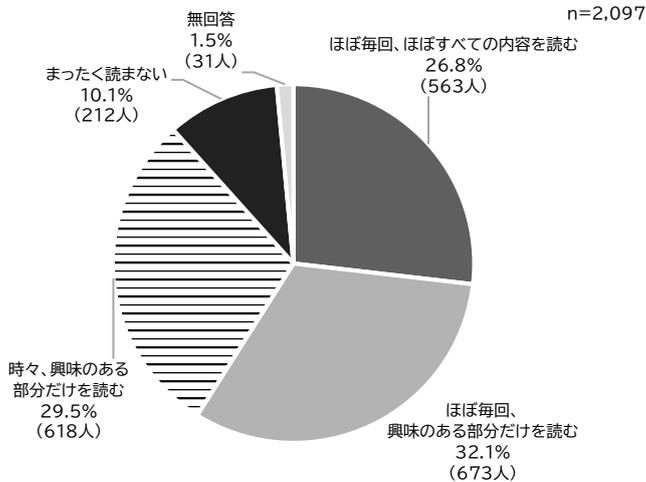
その他の内訳は、「インターネット」、「明石じゃーなる」などであった。

年代別に見ると、10歳代から30歳代では「市のホームページ、SNS（Facebook、Twitterなど）」の割合が約2割であった。60歳代以上では「市の広報誌（広報あかし）」の割合が高く、8割以上であった。



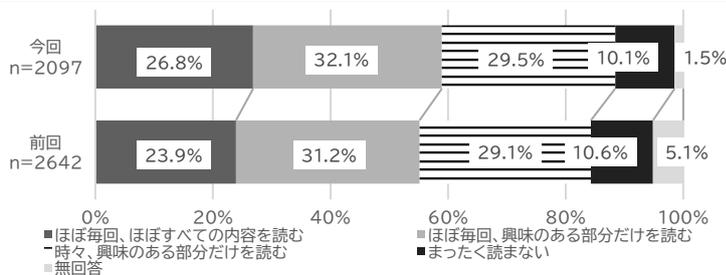
前回と比較して、「市のホームページ、SNS（Facebook、Twitterなど）」「市のパンフレットやチラシ」「新聞やテレビ、ラジオのニュース」については増加が見られた。

⑭ 市が月に2回発行している広報紙「広報あかし」をどの程度ご覧になりますか？



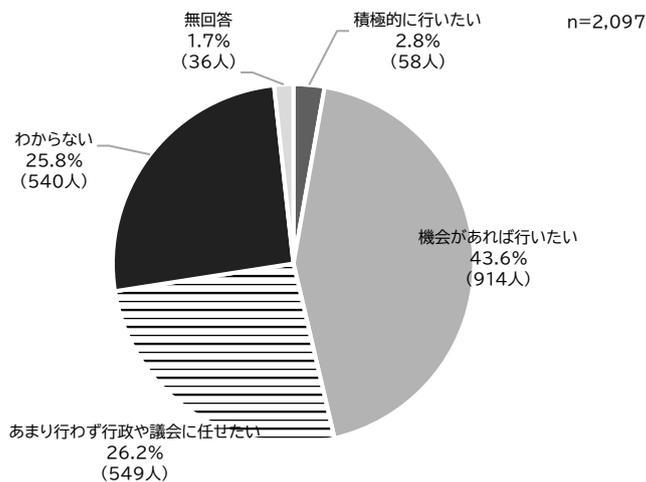
「ほぼ毎回、ほぼすべての内容を読む」と「ほぼ毎回、興味のある部分だけを読む」の合計が約6割であった。

年代別に見ると、年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向があり、60歳代以上では、7割を超えていた。



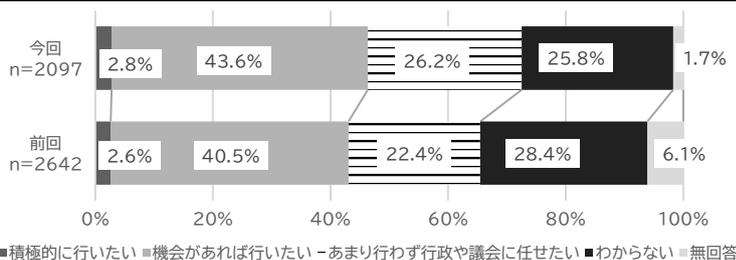
前回と比較して、「ほぼ毎回、ほぼすべての内容を読む」と「ほぼ毎回、興味のある部分だけを読む」の合計がわずかに増加した。

⑮ 市の計画に意見を出したり、市の取組に参加して活動することについてどう思いますか？



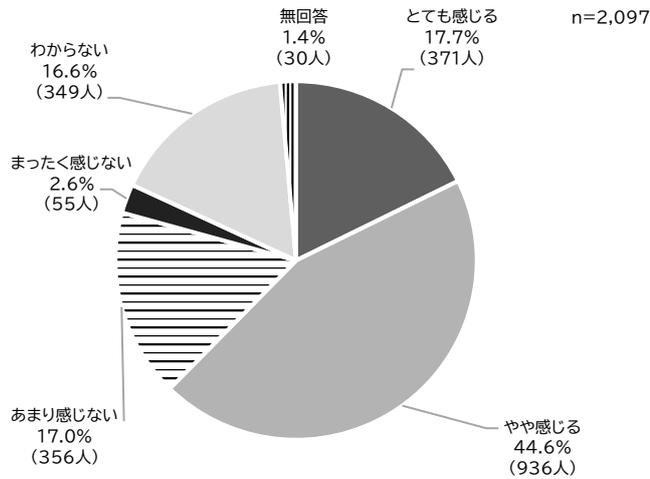
「積極的にやりたい」と「機会があればやりたい」の合計が約4.5割であった。

年齢別に見ると、若い年代ほど「積極的にやりたい」と「機会があればやりたい」の合計が高い傾向にあった。



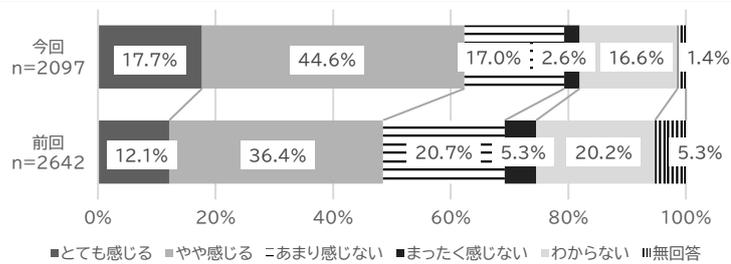
前回と比較して、「機会があればやりたい」が増加する反面、「あまり行わず行政や議会に任せたい」もわずかに増加した。

②⑥ 市の窓口サービスについて、適切で気持ちよい対応がなされていると感じますか？



「とても感じる」と「やや感じる」の合計が約6割であった。

年代別に見ると、年代が上がるにつれて、その割合が高くなる傾向があり、70歳代以上では7割を超えていた。



前回と比較して、「とても感じる」が5.6ポイント、「やや感じる」が8.2ポイントと増加した。

「感じない」という人はいずれも減少した

Ⅲ 調査の結果

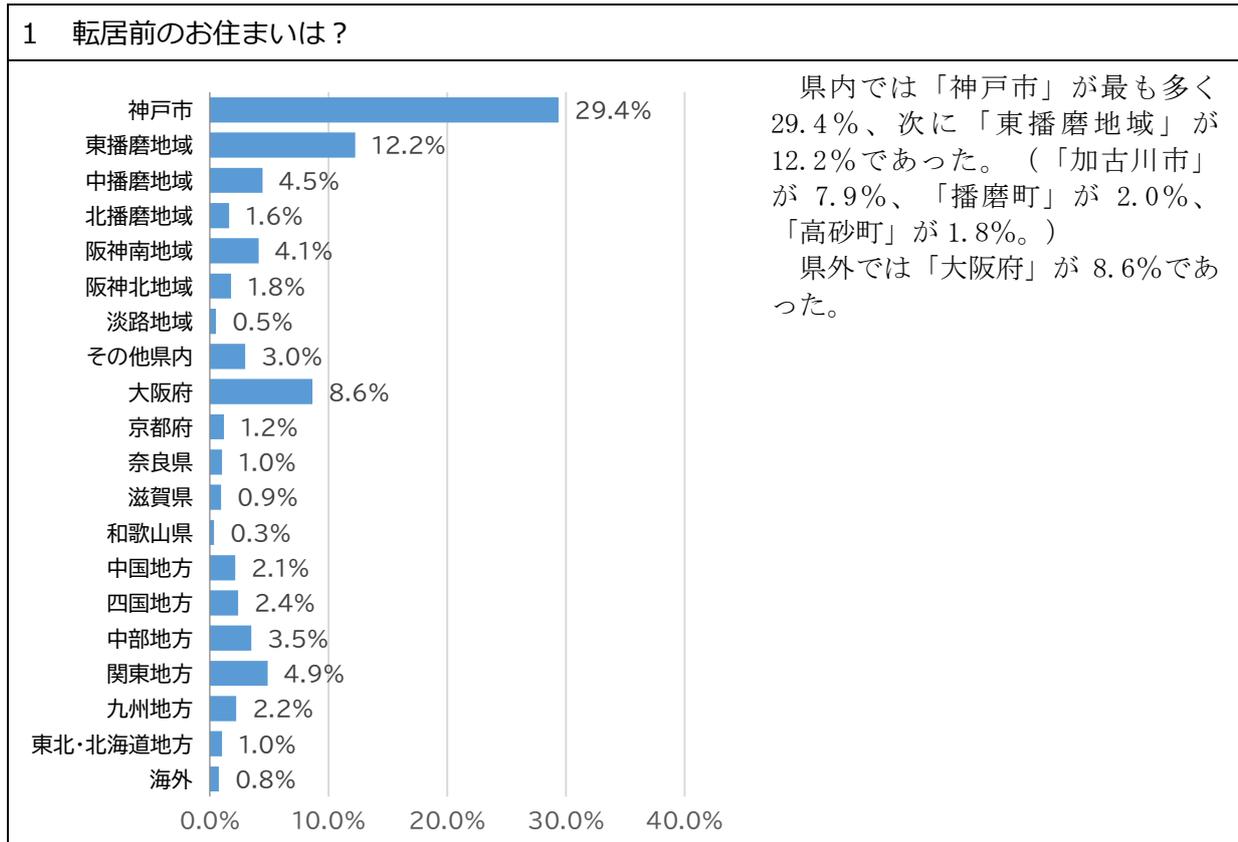
4) 転入のきっかけや考慮した住宅環境について (問4)

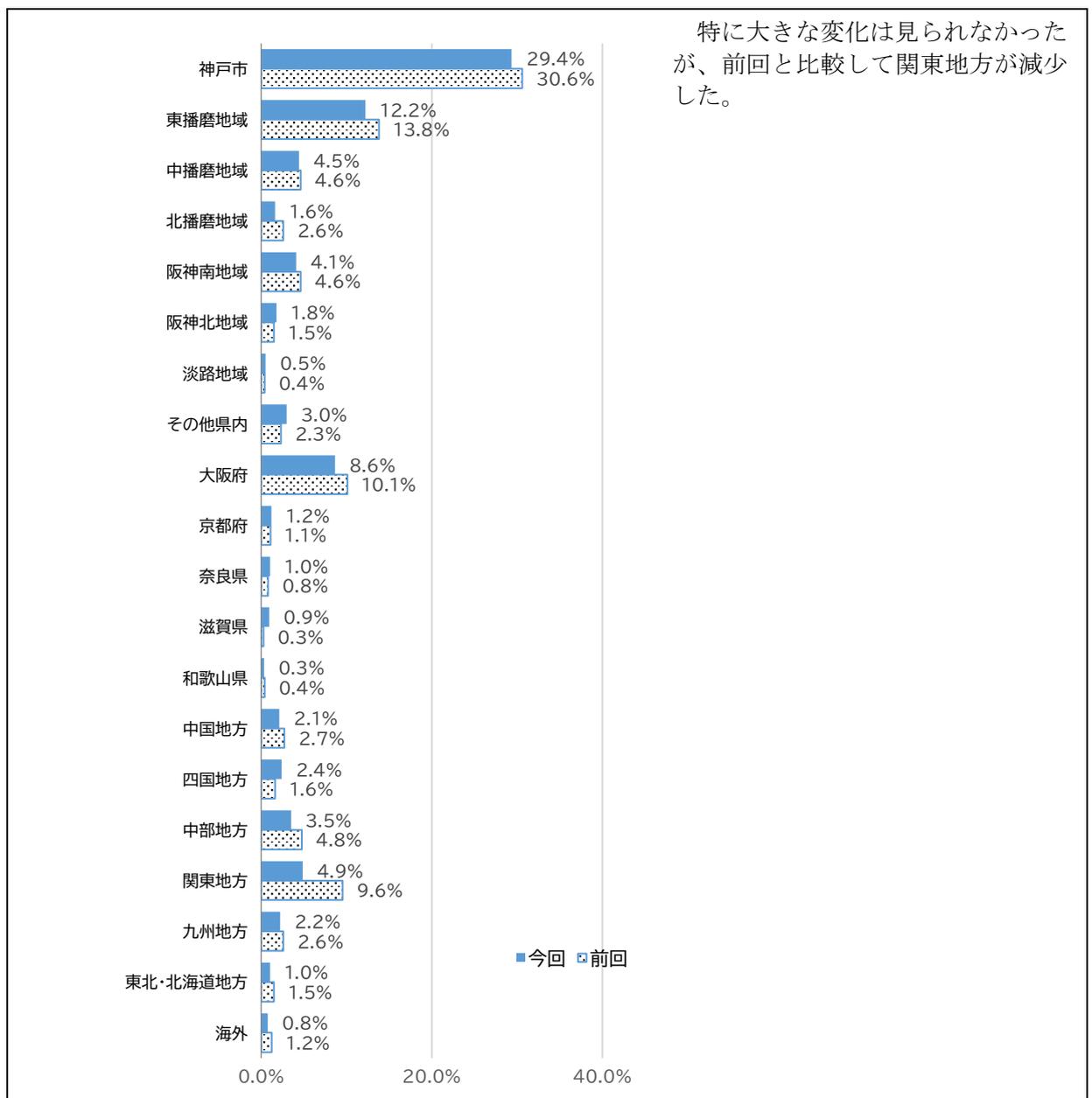
1. 調査目的

市外からの転入者がどういったきっかけや理由で、どこから転居しているかを把握し、今後の施策展開に活かすため、5年以内の転入者を対象に調査を行った。

なお、各設問のうち、平成26年11月に明石市役所市民課窓口及び各市民センターで転入届を提出する方732名を対象に行った調査と同じ又は同内容のものについて、調査結果の比較を行った。

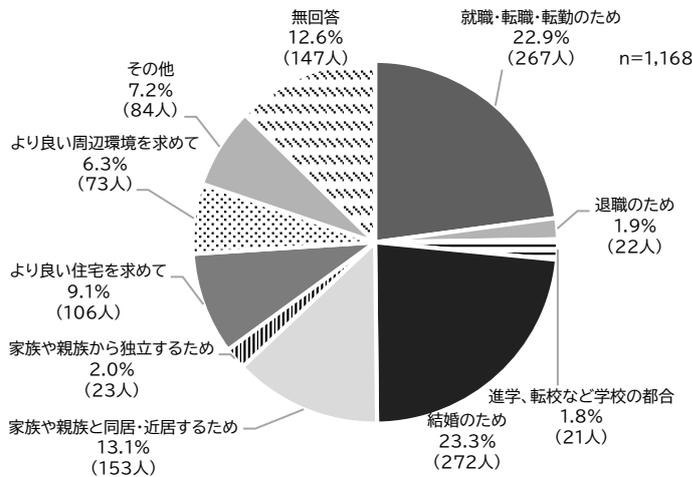
2. 各設問の集計結果





特に大きな変化は見られなかったが、前回と比較して関東地方が減少した。

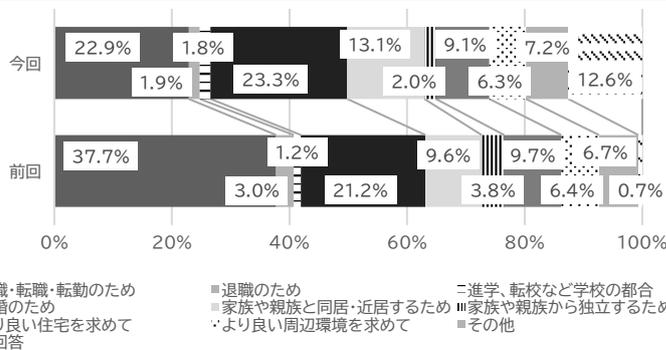
2 転居する最も大きなきっかけは何ですか？（1つだけ選択）



「結婚のため」が最も多く23.3%、次に「就職・転職・転勤のため」が22.9%、「家族や親族と同居・近居するため」が13.1%であった。

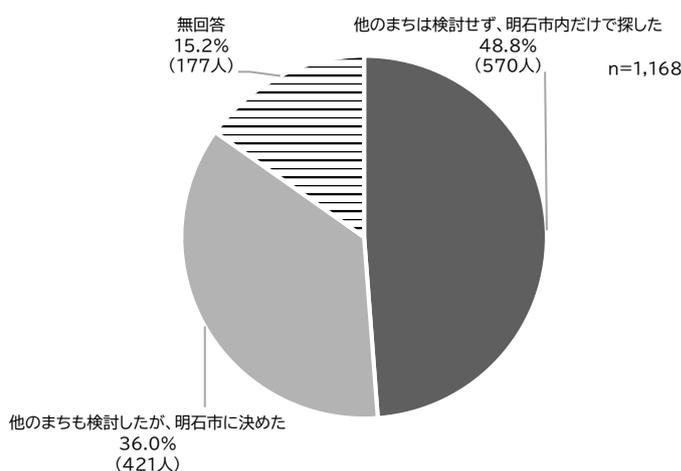
その他の内訳は、「物件の都合」、「子育てのため」、「離婚、離別」などであった。

年代別に見ると、20歳代、30歳代では、「結婚のため」が一番多く、60歳代までの年代では「就職・転職・転勤のため」が全体的に高くなっている。



「家族や親族と同居・近居するため」がわずかに上昇した。一方で、「就職・転職・転勤のため」は約15ポイント減少した。

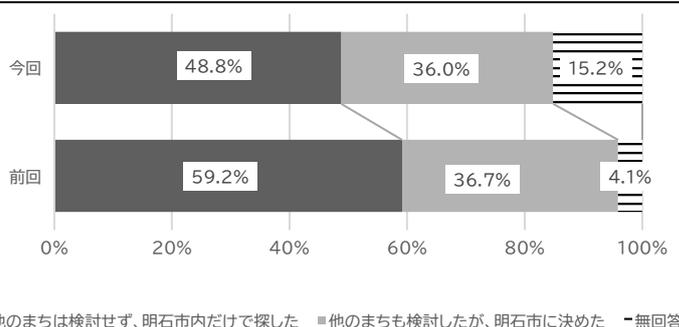
3 転居先として、明石市以外のまちを検討しましたか？（1つだけ選択）



「他のまちは検討せず、明石市内だけで探した」が最も多く48.8%、「他のまちも検討したが、明石市に決めた」が36.0%であった。

「他のまちも検討したが、明石市に決めた」のうち、明石市以外の具体的な場所は「神戸市」が69.6%、加古川市が21.6%であった。

年代による違いはあまり見られなかった。



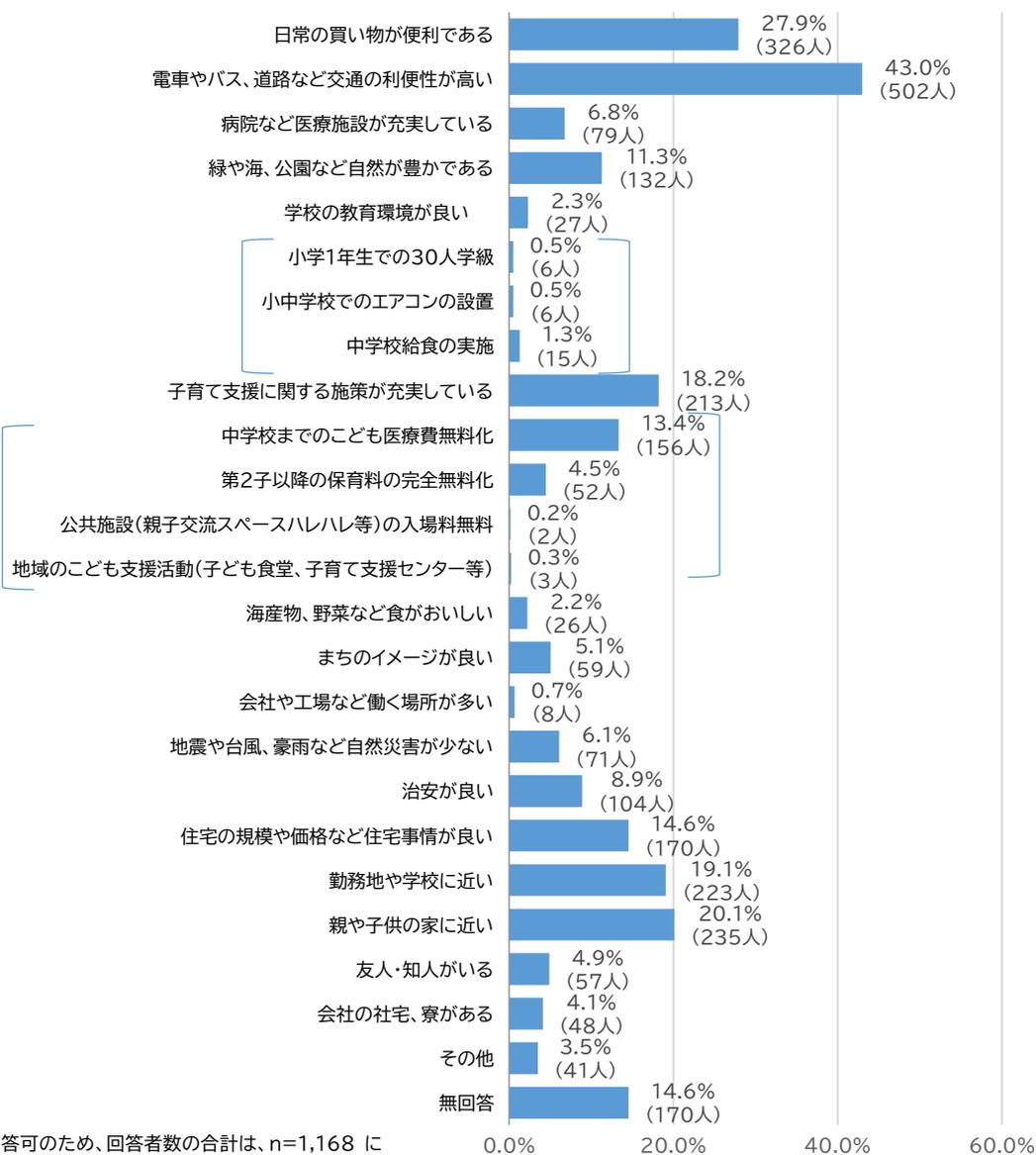
無回答が増加し、「他のまちは検討せず、明石市内だけで探した」が減少した。

4 転居先を決める際に考慮した住宅環境として、大きなものは次のどれですか？（3つまで選択）

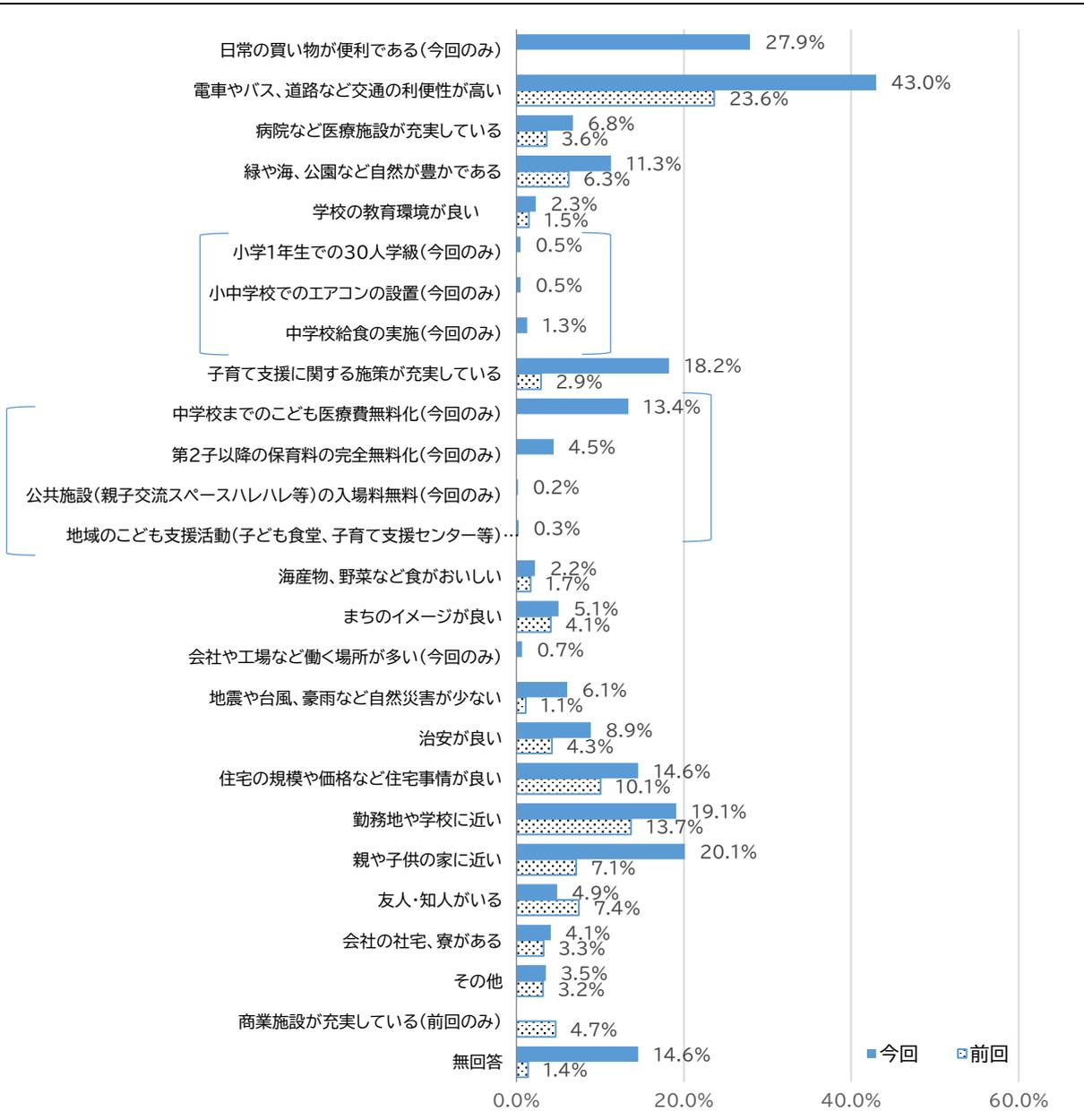
「電車やバス、道路など交通の利便性が高い」が最も多く 43.0%、次に「日常の買い物が便利である」が 27.9%、「親や子供の家に近い」が 20.1%、「勤務地や学校に近い」19.1%であった。

その他の内訳は、「周りの環境が良かった」、「土地、建物があつた」、「ペットと同居可能」などであった。

年代別に見ると、50歳代以上から「病院などの医療施設が充実している」と「地震や台風、豪雨など自然災害が少ない」が年代が上がるにつれて、その割合が高くなっていった。



「電車やバス、道路など交通の利便性が高い」が前回より約 20 ポイント上昇した。
 また、「子育て支援に関する施策が充実している」が約 15 ポイント、「親や子供の家に近い」が約 13 ポイント上昇した。



Ⅲ 調査の結果

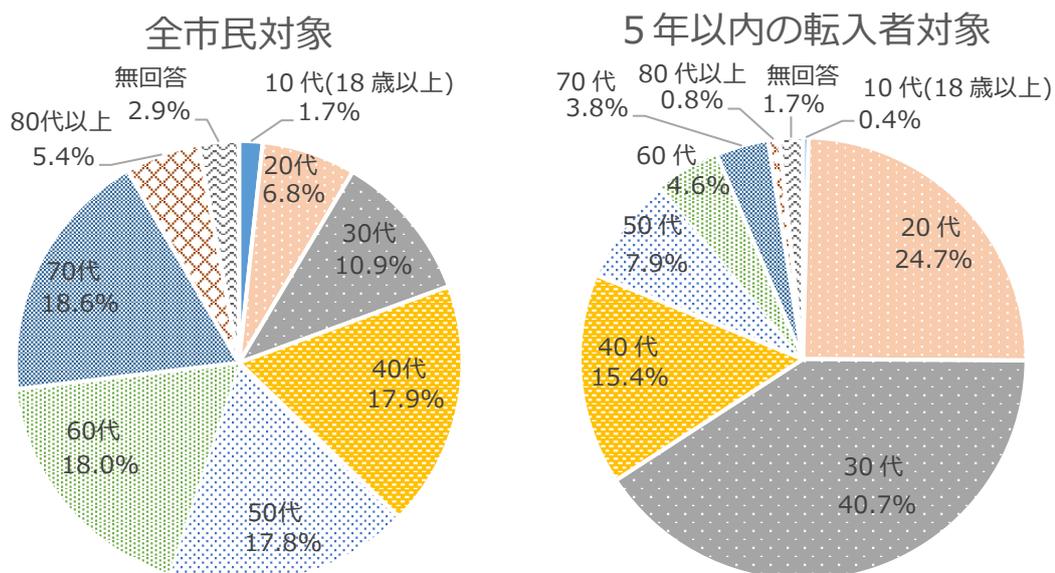
5) 全市民対象と直近5年以内の転入者対象の比較について

1. 年齢構成

全市民対象と5年以内の転入者対象について大きく結果が異なった。

全市民対象は、住基上の年齢構成と比較して、若年層の割合が低く、高齢者層の割合が高くなっている。5年以内の転入者対象では30代が約4割となった。

回答者に占める割合としては、全市民対象では50代以上が約60%、5年以内の転入者では20代、30代が約65%となった。



| 年代 | 全市民対象 (3,000人) | | 5年以内の転入者対象 (2,000人) | | 住基上の 年齢構成 |
|------------|-------------------|-------|------------------------|-------|--------------|
| 10代(18歳以上) | 36 | 1.7% | 5 | 0.4% | 2.3% |
| 20代 | 142 | 6.8% | 288 | 24.7% | 12.2% |
| 30代 | 228 | 10.9% | 475 | 40.7% | 14.8% |
| 40代 | 375 | 17.9% | 180 | 15.4% | 18.1% |
| 50代 | 374 | 17.8% | 92 | 7.9% | 15.2% |
| 60代 | 377 | 18.0% | 54 | 4.6% | 14.2% |
| 70代 | 390 | 18.6% | 45 | 3.8% | 14.4% |
| 80代以上 | 114 | 5.4% | 9 | 0.8% | 8.8% |
| 無回答 | 61 | 2.9% | 20 | 1.7% | — |
| 合計 | 2,097 | 100% | 1,168 | 100% | 100% |

2. (問2) 今後の明石のまちづくりについて

◆ ここ数年、良くなった分野（施策に対する満足度）

子育て環境の充実が、全市民対象、5年以内の転入者対象のいずれも2位とのポイントを大きく引き離れた1位となった。

また、2位「本のある文化のまちづくり」から4位「交通体系の構築」までが、同じ結果となり、パーセンテージについてもほぼ同様の結果となった。

| 順位 | 全市民対象 (3,000人) | 5年以内の転入者対象 (2,000人) |
|----|--------------------|---------------------|
| 1位 | 子育て環境の充実 (59.9%) | 子育て環境の充実 (72.1%) |
| 2位 | 本のまちの推進 (18.8%) | 本のまちの推進 (20.2%) |
| 3位 | 良好な都市環境の整備 (14.1%) | 良好な都市環境の整備 (17.6%) |
| 4位 | 交通体系の構築 (13.2%) | 交通体系の構築 (12.4%) |
| 5位 | 地域福祉の推進 (12.5%) | 観光の振興 (11.6%) |

◆ 今後、強く推進すべき分野（施策の重要度）

2位～4位については同じ結果、また、パーセンテージについてもほぼ同様の結果となった。

一方で、1位と5位については全市民対象が「高齢者支援の充実」「就労・勤労者の支援」だったのに対して、5年以内の転入者対象「子育て環境の充実」「学校教育の充実」となり、年齢構成の割合が反映された結果になったと考えられる。

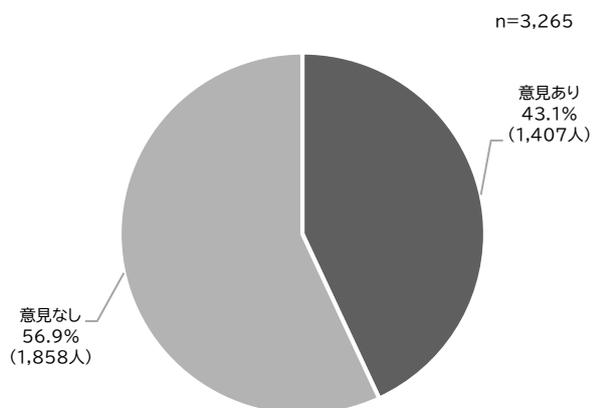
| 順位 | 全市民対象 (3,000人) | 5年以内の転入者対象 (2,000人) |
|----|----------------------|----------------------|
| 1位 | 高齢者支援の充実 (35.8%) | 子育て環境の充実 (27.0%) |
| 2位 | 交通体系の構築 (22.7%) | 交通体系の構築 (25.4%) |
| 3位 | 地域医療の充実 (18.5%) | 地域医療の充実 (18.0%) |
| 4位 | 防災・生活安全対策の推進 (17.0%) | 防災・生活安全対策の推進 (17.9%) |
| 5位 | 就労・勤労者の支援 (16.0%) | 学校教育の充実 (17.5%) |

Ⅲ 調査の結果

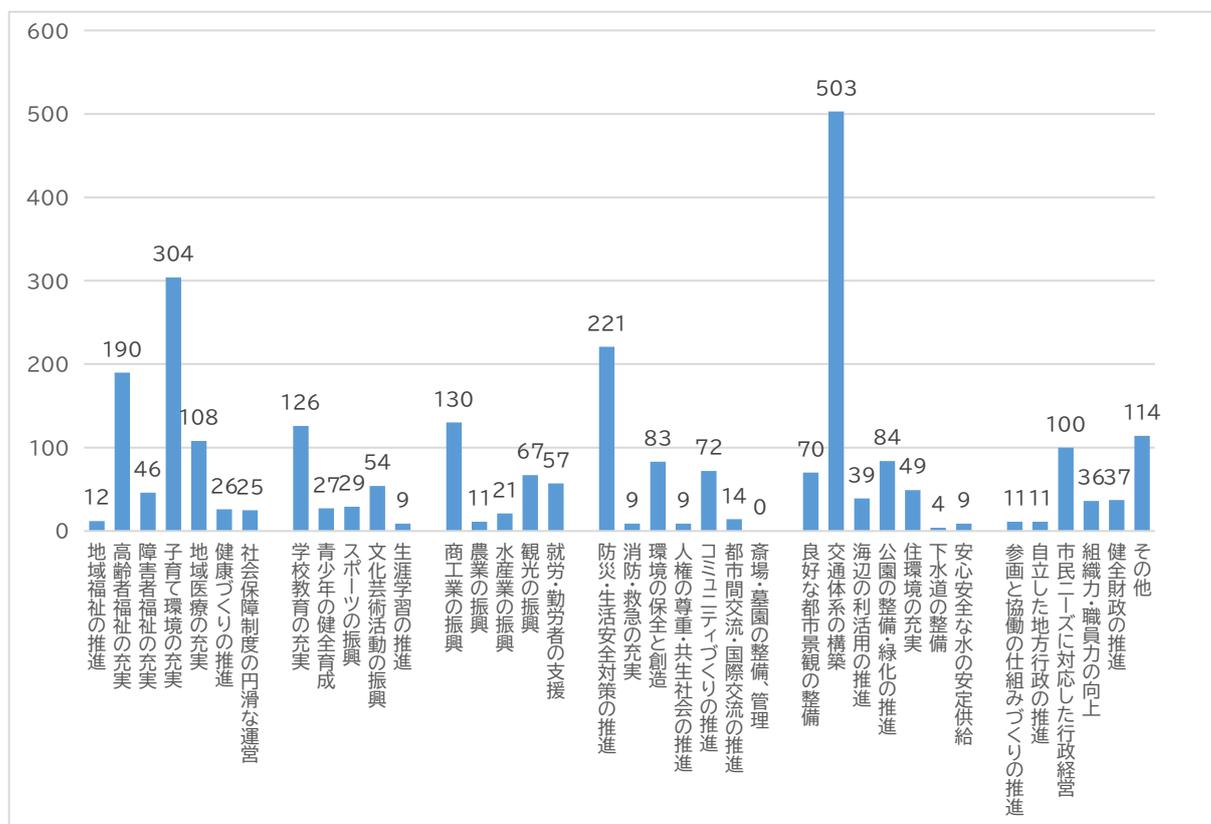
6) 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について (問5)

1. 結果概要

これからの明石のまちづくりについて自由記述でご意見・ご提案を求めたところ、約4割の1,407名から、のべ2,717件の意見をいただいた。



施策ごとに分類すると、下図のとおりである
(複数の分野に関する意見は、それぞれの件数に計上している。)



意見の多かった施策分野ごとにその内容を見ると、以下のとおりである。

(1) 交通体系の構築 (503 件)

子どもや高齢者が安全に歩くことができる歩道の整備を求める意見とコミュニティバス（たこバス）の路線や便数の充実を求める意見が多かった。また、道路の拡幅や自転車道の整備や、JRの発着数の充実を求める意見が見られた。

(2) 子育て環境の充実 (304 件)

こども医療費や保育料の無料化など、子育て家庭の経済的負担の軽減を評価する一方、懐疑的な意見も見られた。そのほか、保育所の待機児童の解消や子どもが安全に遊べる場所の確保を求める意見も多く見られた。

(3) 防災・生活安全対策の推進 (221 件)

道路の拡幅や整備、段差解消など道路整備を求める意見が多く見られたほか、自動車や自転車の運転マナーの向上など交通安全対策を求める意見も多かった。また、防犯対策として街灯の設置や空き家対策などの強化や大きな災害への対策についての意見が見られた。

(4) 高齢者福祉の充実 (190 件)

子育て支援が充実してきたため、高齢者施策の充実を求める意見が多かった。また、介護施設等で待機が生じないよう整備を求める意見や免許返納に伴う交通手段の充実を求める意見も多く見られた。

(5) 商工業の振興 (130 件)

買物する場所が近くにないため、スーパー等の誘致を求める意見や、駅前に映画館等の興行施設の設置を求める意見が多かった。また、百貨店の誘致や明石の良さを伝えるイベントや PR をもっとすべきとの意見も見られた。

(6) 学校教育の充実 (126 件)

学力向上を求める意見のほか、ITや道徳についても充実してほしいとの意見や、部活動や給食に対しても、充実してほしいとの意見が多かった。また、教員の資質の向上を求める意見がある一方、負担を軽減してほしいとの意見も見られた。

(7) 地域医療の充実 (108 件)

中学校までの医療費無料化への意見が多く、引き続き、継続を求める意見や高校生まで延長を求める意見がある一方で、懐疑的な意見も見られた。また、病院の充実や健康診断の充実を求める意見も多く見られた。

(8) 市民ニーズに対応した行政経営 (100 件)

子育て支援の充実だけでなく、各世代に応じた効果的な施策を実施してほしいとの意見が多かった。また、市の取組やイベントに関する情報発信の充実を求める意見が見られた。

(9) 公園の整備・緑化の推進 (84 件)

公園への要望が多く、家の近くなど公園を増やして欲しいという意見が多く見られた。また、公園の遊具の設置や更新や、ボール遊びができるようにという要望も見られた。緑化についても意見が多く、もっと緑が欲しいという要望や、道路や駅前に花をとという意見もあった。

(10) 環境の保全と創造 (83 件)

自然が減ってきているので保護してほしいとの意見が多かった。また、ごみ・たばこのポイ捨て、ペットの糞の不始末への不満や、ゴミ出しのマナーに関する意見も多かった。そのほか、ため池周辺のユスリカ対策や公園の草刈りに対する意見も見られた。